

# 名古屋芸術大学後援会報

Vol.78 2025.3.31



## CONTENTS

■ 目次	1
■ 会長ご挨拶	2
■ 2024 年度 第 2 回学生支援(食料品・生理用品の配布)	3
■ 2024 年度 後援会理事研修(一日研修)	4
■ NUA ウィンドシンフォニー第 4 回定期演奏会の鑑賞・100 円朝食への支援	5
■ 2024 年度名古屋芸術大学芸大祭活動報告	6
■ 学務部報告 学生支援について	7
■ 学務部報告 キャリアサポートについて	9
■ [就職最前線]私が就職内定をもらうまで	11
■ 第 5 回後援会賞授与式	14
■ 第 52 回名古屋芸術大学卒業・修了制作展 優秀賞・企業賞	15
■ 2024 年度 第 28 回ブライトン大学賞授与式	16
■ 名古屋芸術大学賞	17
■ 卒業制作展・修了制作展	18
■ 皆さん受賞おめでとうございます	21
■ 国際交流事業について	23
■ 後援会補助公開講座	25
■ トピックス・ピックアップ	29
■ 「名古屋芸大サポーターズクラブ」便り	32
■ 親の想い	33
■ 子の想い	34
■ 名古屋芸術大学後援会会則	35
■ 公認サークル「壁の華」・「せせらぎ合唱団」	36
■ 後援会で一緒に活動しませんか・編集後記	37
■ 後援会賛助会員紹介	38

**【表紙説明】** 第52回名古屋芸術大学卒業制作展・修了制作展 第5回後援会賞受賞作品  
タイトル ワクワクオノマトペ  
デザイン領域 テキスタイルデザインコース 西川 友斗





## 会長ご挨拶

名古屋芸術大学後援会  
会長 恒川 和久

### 『卒業生に贈る言葉』

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。大学院修了生のみなさん、修了おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

みなさんが入学したときは、新型コロナウイルスが流行っており、学生生活のスタートはその影響を受けました。2023年5月に新型コロナウイルスの感染法上の取り扱いが2類から5類に引き下げられ、通常の学生生活が戻ってきました。新型コロナウイルスに翻弄された4年間（大学院生は6年間）であったと思います。そんな状況でも、みなさんはそれぞれの分野で研鑽に励み、学業を修め、成長されました。心からの敬意を表します。

近年、社会の変化は著しく速くなっています。また、世界に目を向けると経済的にも政治的にも、情勢は日々目まぐるしく変化しております。これからの人生、誰にとっても困難が待ち受けていることでしょう。自分で考え、進む道を見据え、目標に向かって行動していきましょう。名古屋芸術大学で過ごした時間が、そんな力を培ってくれています。自信を持って進んでください。

名古屋芸術大学後援会はこれからもみなさんを応援しています。みなさんの新たな門出に際し、ご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 『一年を振り返って』

一年間を通して、学生が参加するコンサートの鑑賞・食料品と生理用品の配布・後援会報の発行・さまざまな活動への支援等に取り組んで参りました。

振り返ると「できたな」と思うこと、「もう少しやれたかな」と思うことはありますが、今後の活動に活かして参ります。

今後も学生に寄り添って活動して参りますので、多くの方々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 【特集 1】 2024 年度 第 2 回学生支援(食料品・生理用品の配布)

本年度第 2 回目の学生支援として、食料品と生理用品の配布を後援会理事およびサポートチームの保護者の皆様、総勢 25 名で実施しましたので報告させていただきます。

日時：2024 年 11 月 27 日 (水)

10:30～13:10

場所：東キャンパス 交流テラス

西キャンパス B 棟食堂前

配布品：食料品 (500 セット)

ごはんとレトルト (カレー、丼の素)

お菓子 (うまい棒とおまけ)

生理用品 (300 セット)

今回も経験値のあるサポートチームの方々にも参加いただきまして手際よく進めることができ、両キャンパスともすべて配布することができました。

受け取る時にお礼の言葉を添えてくれる学生が多く、アンケートでも励ましの言葉をたくさんいただきうれしく感じました。

食料品のメニューにつきましては、先回の時にサポートチームや学生からの意見を反映して見直しを行いました。概ね好評をいただきました。配布する食料品は都度見直しをかけていこうと思います。

実施にあたり、事前の告知、当日の設営準備等にご協力いただきました学校関係者の皆様へ深く感謝いたします。

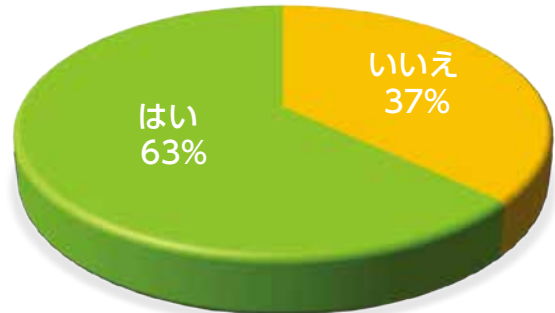
来年も学生支援を継続すべく次の予定を考えています。学生支援では学生とふれあうことができる良い機会です。ご興味がありましたらサポートチームにぜひご参加いただければと思います。事務局までお気軽にご連絡ください。(P37 お問合せ先をご参照ください。)



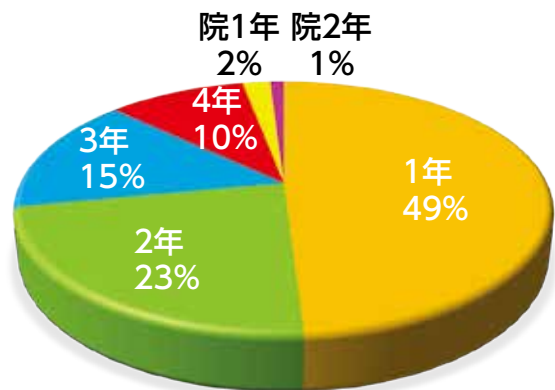
東キャンパス

### アンケート結果

#### 1. 後援会が名古屋芸術大学の保護者会であると知っていますか？



#### 2. 学年を教えてください



後援会が親の会であるを知っていたのは 60% 以上と先回の半分程度から増加していました。1 年生も半期経過して認知度も上がってきた結果が出始めたのではないかと感じています。また、1,2 年生の講義が多い曜日開催であったことから学年の偏りが発生したと思います。

日程を見直し、より多くの学生への支援ができればと考えています。

副会長 (事業委員長) 杉田 敦



西キャンパス



**【特集 2】****2024 年度 後援会理事研修（一日研修）**

後援会の理事研修は芸術に触れながら、後援会の理事、役員および顧問の交流を目的としています。

今年度の一日研修は 10 月 5 日（土）に総勢 20 名にて行われました。

**訪問先 1：ルーブル彫刻美術館**

三重在住の方ならテレビ CM でご存じかもしれませんが、フランスのルーブル美術館に許可をいただき、本物から型取りした精巧な複製が展示されている施設になります。

建築家黒川紀章氏設計による趣向を凝らした建物とともに、フランスまで行かないと見ることができない作品を三重で本物に非常に近い状態で触れることができる貴重な体験ができました。

**訪問先 2：菰野ピアノ歴史館**

3 年前に一般に開館した施設ですが、40 年以上前から 100 ～ 200 年ぐらい前のピアノを

当時の技術を再現しつつ 1 台当たり 5 年以上の歳月をかけて再生、完成したものが所狭しと並んでいる姿は圧巻でした。

蓄音器が発明される以前の音を再現する情熱には感心しきり、ピアノは弾けませんが、ピアノへの愛情と知識のすごさに惹かれ時間があっという間に過ぎてしまいました。

名古屋芸術大学含め全国の音大から授業の一環で訪れているのも納得の施設でした。

移動のバスの車内ではビンゴ大会、昼食はうなぎをいただき、帰路のアクアグニスでは買い物やお茶、中には温泉を楽しむ方もいました。

有意義な時間を過ごすことで人との距離も近くなり、後援会事業を円滑に進めることにつなげていければと思います。

**副会長（事業委員長） 杉田 敦**



【特集3】  
理事研修

NUA ウインドシンフォニー第4回定期演奏会の鑑賞

理事研修として、NUA ウインドシンフォニー  
第4回定期演奏会を鑑賞しました。

日時：2025年1月31日（金）

会場：愛知県芸術劇場コンサートホール



曲目は、ベルギーの作曲家ベルト・アッペンモルト作の「交響詩 エグモント」、[サガ・キャンディータ〜魔女狩りの7つの印象]、同じくベルギーの作曲家ヤン・ヴァンデルロースト作の「ダイナミカ」、[管弦楽のためのアダージョ]、「オスティナーティ」で構成されており、圧巻の演奏に感動しました。子どもたちの成長を実感するとともに、NUA 管弦楽団の演奏技術の高さを目の当たりにできる貴重な機会となりました。

今後もさまざまな大学行事を通して、学生への支援に繋がられるよう後援会としても活動して参ります。

## 100 円朝食への支援

名古屋芸術大学学務部が主催する「100 円朝食を食べよう！」が開催され、後援会はその補助を実施しました。

日時：2024年12月11日（水）～12月13日（金）

場所：東・西キャンパス食堂

学生から寄せられた意見の一部を紹介します。

- ・食べたくても食べる時間が無い朝ご飯が食べられて助かる
- ・100 円でここまで食べられるのは、物価が上がる中でとても嬉しい
- ・ちょうど朝ごはんを食べずに家を出て来てお腹が空いていたので、ゆで卵がすごく美味しかった
- ・家が遠いため朝ごはんを食べる時間がないのでとても嬉しい
- ・この値段で満足できる量の朝食を摂れるのはありがたい
- ・1 限から授業がある日は朝食を食べる余裕が無いのでコンビニより学内で買えるほうが楽

後援会は、学生のための支援活動を引き続き行って参ります。



# 2024 年度名古屋芸術大学芸大祭活動報告

芸大祭実行委員会 実行委員長（開催当時：副実行委員長） 片山 愛唯

今年度の芸大祭は、西キャンパスにて3日間にわたり開催されました。今年度は、キャンパスを島に見立て、芸術系総合大学という特色を活かすことでそれぞれ参加者の個性を発揮できる場になってほしい、という想いから「創作島（そうさくじま）」と名付け、芸大祭のテーマに決定しました。



今年度は新型コロナウイルスの影響から復活して3年目となり、昨年度よりも出店やステージの数が増え、大いに盛り上がりを見せました。

初日は雨の影響で開催時間が短縮となってしまいましたが、3日間で合計約3,500人と昨年度よりも500人を上回る、多くの方にご来場いただくことができました。

今年度の芸大祭では、「物販や飲食店へのPayPayの導入」、「クラウドファンディングの実施」、「芸大祭マスコットキャラクター・つくりんちゅのオリジナルグッズの販売“売るんちゅ!”」、「コスプレで芸大祭に参加可能なコスプレ企画“名芸コス”」など、初めての企画も多くあり、3日間を盛り上げるために企画してきた芸大祭は、大学内外問わず多くの方に楽しんでいただけました。また、ふわふわドームや



らがきコーナーなどの子ども向けの企画を取り入れることで、大人だけでなく子どもも楽し

める空間も創出できました。

絵画やガラス・陶器、ハンドメイド作品、演奏やダンスといった音楽関連のステージ発表など、芸術系総合大学ならではの学生たちによる、個性溢れる成果発表の場となりました。



芸大祭を運営する実行委員会は、1～3年生約40人が主体となり活動してきました。様々な企画を立案し

ていく中でも特に、今年度も新たに実行委員がデザイン・制作を手がけた、芸大祭マスコットキャラクター「つくりんちゅ」はグッズ共に大人気でした。

私自身も、昨年度よりも多くの後輩と芸大祭の成功を導くことができ、充実した3日間を迎えられたこと、大変嬉しく思います。

最後になりましたが、芸大祭を盛り上げるための様々な企画の成功は、実行委員会だけではできません。協賛やクラウドファンディングにご協力いただいた皆様、ご支援いただいた後援会の皆様、開催にあたりお力添えしていただいた教職員の皆様方、そしてご来場いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。



## 学務部報告

## 学生支援について

名古屋芸術大学後援会のみなさまにおかれましては、日頃より本学の運営に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。2024年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、コロナ禍以前の状態で活動を本格的に実施することができました。以下のとおり、学生支援チームが中心となって様々なイベントを開催しました。

### 2024年度 学生支援イベント一覧

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 ごみゼロ運動
- 6月 クラブ代表者会議
- 7月
- 8月 **クラブガイド 2024**
- 9月 留学生支援イベント「履修相談会」、「ランチ会」
- 10月 留学生支援イベント「漫画セリフ翻訳大会」
- 11月 芸大祭、留学生支援イベント「中国・日本 お菓子言語交流会」
- 12月 100円朝食、留学生支援イベント「冬至イベント（料理）」
- 1月
- 2月 留学生支援「新入生日本語テスト」
- 3月 卒業祝賀会



(5月「ごみゼロ運動」の参加者)

今年度の芸大祭は11月2日～4日に開催しました。今年はテーマを「創作島」として実施しました。実行委員会には1年生36名が加入してくれましたので、総勢60名を超える大所帯となりました。そこで、組織体制を執行部、総務部、企画部、制作部、ステージ部と分け、個々の役割を明確化しました。



(上：芸大祭の様子 下：芸大祭実行委員会)

2024年度の芸大祭は、クラウドファンディング、協賛、コスプレ企画、模擬店でのキャッシュレス決裁(PayPay)の導入など、多くの新たな試みを実施しました。協賛の依頼のために近隣の店舗に直接依頼に行ったり、外部業者様とのやり取りがあったり、社会人との関わりが多くあります。実行委員は、単なるイベントの運営にとどまらず、社会人、参加学生、来場者とのコミュニケーションを通じて学び、日々成長しました。

芸大祭初日の11月2日はどしゃ降りの後に出現した虹をみんなで見て感動したり、大型の看板(写真参照)を総出で設置したことなど、彼らの大切な思い出になっているでしょう。現



在(2024年2月)は、4月実施の新入生歓迎会に向けて、新組織で活動しています。

また、今年度後期から「留学生支援イベント」を本格的に開始しました。このイベントは、特に多い中国からの留学生支援の一助となるべく、様々なイベントを企画し、開催しました。主な目的は、留学生の居場所づくりと言語面における学校生活のサポートです。また、日本語が堪能な中国人留学生や、中国語が堪能な日本人学生にご協力いただき、このイベントを運営しています。



(「漫画セリフ翻訳大会」の様子)

手探り状態の中で開始しましたが、スタッフ一同、アイデアを出し合い、「履修相談会」、「漫画セリフ翻訳大会」、「中国・日本 お菓子言語交流会」、「冬至料理イベント」の各種イベントを開催しました。毎回、多くの留学生や日本人学生の参加がありました。

中でも料理イベントは、参加者全員が手を動かし、多くの雑談が飛び交い、2種類の料理を完成させる目的を持って、とても和やかな雰囲気の中、開催できました。私も料理をいただきましたが、手作りの「猪肉大葱水餃」(水餃子)と「酒酿丸子」(スープ状の餅のデザート)は、とても美味しかったです。ちなみに、中国語で「美味しい」は「好吃(hǎo chī)」と言います。

発案や買い出しをしてくれた元気なスタッフ、試食専門の人たち、「女子に洗い物はやら

せない!」と誰よりも率先してずっと洗い物をし続けてくれた男子、中国語を勉強したいと参加し続けてきているちょっと大人しい日本人学生。私も楽しく見守らせていただきました。



(「冬至料理イベント」の様子)

私事ですが、中国語を学習し始めて早いもので4年が経ちました。まだまだ片言の語学力ですが、留学生に拙い中国語で話しかけると、優しく中国語で返してくれます。業務で留学生のみなさまと交流できることが非常にありがたく感じています。留学生と関わる際に、留学生の母国語でコミュニケーションを取ることは、異文化を理解することに繋がり、親身になりたい気持ちを示すことにもなり、その気持ちが留学生に伝わっていたら嬉しく思います。

日本人学生はもちろん、留学生や新入生が今後も楽しく名古屋芸術大学で大学生活を送っていただけるよう、学生支援チームのスタッフ一同、全力を尽くします。末筆になりますが、後援会のみなさまにおかれましては、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(学務部 学生支援チーム 河合)

## 学務部報告

# キャリアサポートについて

名古屋芸術大学後援会の皆様には、日頃から本学の運営、学生支援に多大なるご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。学生支援チームでは、学生の皆さんのキャリア形成支援と卒業後の進路選択に向けて日々取り組んでおります。本学のキャリア教育・支援は、学生がそれぞれの学部・領域で4年間かけて学ぶ専門分野という「大きな刀」と、ビジネス汎用力を「小さな刀」として準え、「キャリア二刀流」を掲げて、様々な取り組みを行っています。ビジネス汎用力の養成を目的として「キャリア系正規科目(キャリア1～4)」を開設し、「労務論」「起業論」など働くうえで必要となる知識を身につける「ビジネス系正規科目」も開設しています。「キャリア4」の授業においては、授業担当教員のほかに、社会保険労務士や中小企業診断士とともに学生支援チームの職員が加わり授業運営に携わっております。

近年の新卒採用については、大学生にとって売り手市場の状態が続いております。そのため、企業の新卒採用の意欲は高くなり、就職活動の早期化が話題となっています。企業が学生との接点をつくるうえで重要度が増している内容として、「インターンシップ」があります。この「インターンシップ」については、令和5年度に大きな見直しがありました。具体的には、学生のキャリア形成支援に係る取組が4つに類型化されました。

- ・タイプ1：オープン・カンパニー
- ・タイプ2：キャリア教育
- ・タイプ3：汎用型能力・専門活用型インターンシップ
- ・タイプ4：高度専門型インターンシップ

タイプ1と2は「インターンシップ」とは称せず、内容は就業体験の必要はなく「企業や業界の情報提供等」を主な目的としています。実施

期間については、多くは1日から3日間程度で「オープン・カンパニー」や「1Day インターンシップ」と呼ばれ、多くの企業が開催しているものです。タイプ3と4については、5日間から2週間以上の期間要件があり、一定の基準を満たした場合、インターンシップで取得した学生情報を、採用選考活動時における評価材料として取得することができるようになりました。本学の学生にもこのインターンシップに参加し、企業に採用される例が増えています。企業の採用意欲の高まりは本学への求人数にも表れています。令和4年度卒業生への求人数は約17,000件、令和5年度卒業生への求人数は約31,000件、令和6年度卒業生への求人数は現在約36,000件となっております。また、令和7年度卒業生への求人



学務部 学生支援チーム  
チームリーダー  
木村 正明





## 相談会

## 求人紹介DAY

そ場でご希望を伺い、個別に求人を紹介！  
エントリーまでサポートします。

## 就職相談会

予約制で個別に公立学校、園を目指す方に、  
合格に向けてのポイントをお伝えします。

## ポートフォリオ相談会

予約制で個別に就職用ポートフォリオ作成の  
ポイントをお伝えします。

## 模擬面接対策

外部講師の方による、より本番を想定した模  
擬面接を実施します。「面接通過が難しい…」  
という方を始め「これから面接があるので練習  
したい!」という方まで面接突破の糸口を  
見つけましょう!

## 弁護士相談会

後援弁護士の先生による個別相談会です。ア  
ルバイトでの雇用条件、創作活動時の契約の  
取り交わしや著作権の問題など…「これで  
大丈夫なのかな?」と感じるお悩みがあれば  
些細なことでもお気軽にご相談ください。



相談会予約は  
こちらから

## 就職講座 (ハイパー講座)

## 面接基礎講座「基本のき」

西:7月25日(木) 10:40~12:10  
学務部副部長 伊藤元朗  
選考で選り抜けないのが面接です。  
就職活動での面接対策について基本の  
「き」からご説明します。



講座受講申込は  
こちらから

名古屋芸術大学 キャリアサポート室  
career@nua.ac.jp

# 心機一転

キャリアイベント

2024年  
7月25日(木)・26日(金)  
求人紹介を中心に実施します。

タイムスケジュール	7月25日(木)		7月26日(金)	
	東	西	東	西
10:40 12:10		面接基礎講座 「基本のき」		
13:10 17:00	求人紹介DAY ・模擬面接対策 (13:10~15:40)	求人紹介DAY ・ポートフォリオ 相談会 ・就職相談会 ・模擬面接対策 ・弁護士相談会	求人紹介DAY ・模擬面接対策	求人紹介DAY ・ポートフォリオ 相談会 ・就職相談会 ・模擬面接対策



は、現時点ですでに約 8,100 件の求人が届いております。このことから企業の新卒採用の意欲の高まりが感じられます。就職情報会社から提供を受けた情報によると、本学の令和7年3月卒業予定者(現3年生)は、4月当初から情報サイトの利用を始めており、令和6年3月卒生(現4年生)と比べ2割ほど利用率が高くなっています。学生支援チームでは、学生に対するキャリア支援策として、「キャリア相談 DAY」を毎週木・金曜日の午後に設定し実施しております。相談件数は、昨年度約 500 件に対し今年度は 12 月時点で 600 件を超え、3 年生の利用も増えています。3 年生の相談内容は、多くがインターンシップについての相談となっております。

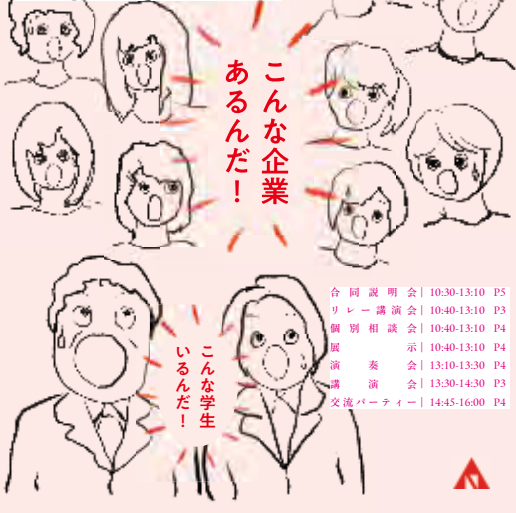
企業の採用活動が活発になり、学生の就職意識の高まりを受けて、早期化の状況となっております。一方で、就職活動の長期化の問題も生じています。早期選考により内定を得た学生、4 年生の早期に複数の内定先を得た学生は、この内定先を保留した状態で、「自分にあった働き場所」を求めて就職活動を継続します。最終的には 1 つの内定先に内定承諾するため、企業にとっては採用予定数の確保に至らず採用活動を継続します。このことが長期化に繋がっています。

学生支援チームでは、「キャリア相談 DAY」や主催するイベントを通じて、社会情勢に応じたキャリア支援を行ってまいります。卒業後の進路については多くが就職を希望しておりますが、就職以外の進路を希望する学生も多くおります。学生支援チームでは、一人ひとりの希望に沿った支援を続けてまいります。キャリア支援については、後援会の皆様のご理解とご支援が必要です。今後とも、学生支援チームの活動にご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

## 官民学合同説明会 & 交流パーティー

2024.12.7 (Sat) 10:30-16:00

東キャンパス 1号館 4階・7階  
8号館 学生食堂



## 〔就活最前線〕

私

## が就職内定をもらうまで

芸術学部 芸術学科 音楽領域

音楽総合コース 4年 馬場 麻央

4月からガソリンスタンドのサービス業務を行う企業に就職します。就職先の企業には吹奏楽団があるという少し変わった特徴があり、業務の一環として音楽に携わりながら接客することができま

す。私は音楽総合コースでサウンドを中心に作曲を学んでいました。就職活動を意識しはじめたのは、3年生の10月頃です。友人からインターンや説明会に参加している話を聞いたことがきっかけでした。焦りを感じ、とりあえず行動を起こそうと対面やオンラインのイベントに参加しました。

せっかく得た大学での学びを無駄にしたくなく、はじめは音楽業界の企業を調べ、説明会に足を運んでいましたが、正直何がやりたいのかわからず、漠然とした気持ちで就職活動を進めていました。

どうしたら自分のやりたいことが見つかるのだろうと悩みながら自己PRを考えている時、私は得意なことを仕事のやりがいにしたと気づくことができました。アルバイトの経験から人とのコミュニケーションが得意であった私は、サービス業界に視野を広げて企業調べを行い、今の内定先

に出会うことができました。音楽にも携わりたい想いがあったため、得意なこと・好きなことともに関わることができるのはとても幸せなことだと感じています。



これから就職活動をはじめめる皆さんに向けて、進路に迷った時はぜひ大学生活を振り返ってみてください！学業やサークル、アルバイト、何気ない趣味など4年間の経験すべてがやりたいことを見つける鍵になります。また自己PRや学生時代に頑張ったことなど、エントリーシートを記入する時にも大学生活の振り返りはとても重要です。

そして就職活動に限らず、積極的に行動して様々な経験をしてほしいです。大学生だからこそ得られる経験もあると思います。悔いのない大学生活を過ごしてください！

悩んだら1人で抱え込まないように！家族や友人、教員などあなたの味方はたくさんいます。体調管理に気をつけて、就職活動がんばってください！応援しています！

芸術学科 芸術学部 舞台芸術領域

舞台美術コース 4年 山本 翔太

私は、ミュージカルをメインに全国各地で上演を行う劇団の演出部から内定をいただきました。高校時代に演劇部に所属しており、大道具製作を経験し、舞台を裏方として作り上げることに喜びを感じ、舞台の裏方を学べる舞台芸術領域に入学しました。



4年生の春からと、決して早いとは言えないタイミングで始めた就職活動は、自分が何をしたいかを考えるところから始まりました。大道具を専攻して学んでいる私は、漠然と大道具製作の道を目指すものだと考えておりました。何がしたいのかを真剣に考え始め、アルバイトとして経験した舞台スタッフや3年生の秋に参加した舞台芸術祭スタッフのインターンシップのことを思い出しました。鑑賞者の方と同じ空間と時間を共有し、共に作品をつくる芸術であること、様々なセクショ

ンがいて自分一人では決してつくりあげることのできない総合芸術であることは、舞台芸術の特権だと感じました。鑑賞者の方と、舞台を通して会話できるような感覚が忘れられず、舞台進行の仕事を目指しました。説明会に参加し、舞台の進行を行う部署があることを知った私は、気がついたらエントリーをしていました。それからは、ポートフォリオ制作や面接対策、選考課題に対策を重ねる日々が続きました。日本語に自信のない私は、劇団の主宰を行っている大学の先生に何度も文章の相談をしました。その他にも様々な立場の先生や講師の方に、ポートフォリオの添削や、面接の対策をしていただきました。同期の仲間とは、選考の内容や進捗状況を共有してきたおかげで、一人ではないんだという感覚が常にありました。

約半年間に及んだ就職活動も、第一志望からの内定をいただき同期の仲間もほとんどが第一志望から内定をいただいております。振り返ると制作段階の大道具の写真を残していたことや、先生や同期の仲間とコミュニケーションを取ることは大いに就職活動に役立ったと感じています。自信をなくすことや孤独を感じることもあるかもしれませんが、やってきたことを自信に、胸を張って素直に頑張ってください！



## 芸術学部 芸術学科 デザイン領域

## メタル&amp;ジュエリーデザインコース

4年生 神谷 未来

私はジュエリーを中心としたラグジュアリーブランドのジュエリー制作コースで内定をいただきました。

ジュエリー制作をしたくてこの大学に入学しましたが、ジュエリーの知識は無く、どんな会社があるのか、どんな職種があるのかすらも知らない状態でした。そのため、教授や、キャリアサポートの先生方に聞いたり、インターンの申し込みについて情報をももらったりするところから始めました。

インターンは、個人的に対面で参加してよかったと思いました。ジュエリーを作るために、どこからどこまで会社で作っているのか、自分にも挑戦できる世界なのか、実際に見たり聞いたり、体験させてもらうことで想像できるようになりました。

インターン以外にも教授や先輩から、就活に生かせると勧められて、貴金属装身具制作技能士の試験を受けることにしました。合格発表は最終面接に間に合いませんでしたが、試験に向けて練習をしていることを面接で話せたので、向上心をアピールできたのではないかと思います。就活に間に合うように、2年生で挑戦する学生も増えているので、ジュ

エリー関係のお仕事を目指している人は、受けてみることをオススメします。

就活を始めから、自分に自信が持てなくて不安になって、自分の中で処理しきれなくなった時、沢山お

話を聞いてくださったコースの教授や先生方、エントリーシートの書き方や面接でのマナー、募集が少ないジュエリー制作職以外にどんな会社があってどんな職種があるのかまで沢山教えてくださったキャリアサポート室の先生方、本当にたくさんの方に助けていただきました。ありがとうございました。

これから就活が始まる人も、就活中の人も、1人で頑張らず、頼れる人生の先輩に力を貸してもらうのも1つの手かもしれません！頑張ってください！



## 芸術学部 芸術学科 美術領域

## 洋画コース 4年生 河地 南摘

私はアニメーション制作会社の仕上げ部署から内定をいただきました。業界や会社についての情報収集は大学3年生の春ごろから行なっていました。3年生の冬から、4年生の夏頃に履歴書を送ったり面接をしたりなどの本格的な就職活動に努めて、会社からは内定をいただきました。

私が就職活動を通して大変だったことと、力を入れた方がいいと感じたポイントを2点書きます。

1点目は、ポートフォリオ制作の重要さです。ポートフォリオを求められる業界や会社をセレクトして受ける場合、まず初めに書類選考の段階でポートフォリオによる見極めが行われます。まずポートフォリオが完成していないと面接に進めないの、入れる作品を十分貯めておくこと、その会社に応えられる作品を作ることがとても重要です。

他にも自分と同じような業界を受ける人のポートフォリオを研究し、企業の方やキャリアセンターの方に添削をしていただいて、どんどんブラッシュアップしていくことが大切になっていくと思いました。

2点目は、面接の準備と練習についてです。企業研究はもちろん、聞かれそうな質問に対する、自分の考えや説得力に繋がるバックボーンをしっかりと言語化できるように準備をして、面接練習を行い、数

を重ねる事を推奨します。キャリアセンターを活用したり、家族や先輩、友人の力を借りて面接練習をする、というのもとても良いと思います。事前準備をできる範囲で完璧に行うこと、そして練習でもいいので数をこなすことが1番面接が上達する近道だと思いました。

就職活動は不安なことだらけで、悩むことも落ち込むことも多いと思います。しかし就職活動に成功も失敗もないとわたしは考えていますし、縁や運やフィーリングなどが絡む要素が強いので、自分を責めずに体調には気をつけて、頑張りすぎないように行なって欲しいです。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



【就活最前線】**私**が就職内定をもらうまで

## 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

### リベラルアーツコース 4年 田島 春佳

私は地方公務員の行政職として、市役所に内定をいただきました。もし今、これを読んでいるのが就活生の方ならば、私が助言できることは一つだけです。それは、いかなる時も笑顔でいること。

私が就職活動に本格的に取り組み始めたのは4年生になってからです。私は大学の先生に就職活動の相談をし、「勉強が嫌いじゃなければ」と前置きされて公務員と銀行を勧められました。SPIの勉強を始めたのは試験日のたった2ヶ月前。それほど学力に自信があるわけでもなかったの、かなり無謀とっていました。それでもなんとか最終面接へいったものの、あっさり決まってしまうかもと私が内心浮かれていたせいか、見事どちらも落選しました。その後も、民間企業にも挑戦の幅を広げてみましたが、以降は悉く敗北。中には書類選考で落とされるものもあり、ショックでしばらく就活を辞めていました。その後、大学のキャリアセンターに何度か相談させてもらい、東京のアニメ制作会社と少し離れた地域の市役所を受けました。

そこでなんと、先に受けたアニメ制作会社から初めて採用通知をいただきました。この時、おそらく私の人生で最大の大勝負の幕が上がりました。つまり、次の市役所に受からなければ、私の東京行きが確定するのです。ぬくぬくと実家暮らしをしていた私にとって、東京での一人暮らしはあまりにハードルが高い…しかし、その採用を辞退したとして、市役所も落ちたとなれば、時期的

に本当にもう後が無いという状況でした。今まで生きてきた中で、ここまで大きな人生の岐路に立った事はありません。市役所の最終面接を前に、私はその恐ろしいまでのプレッシャーと緊張をどうするか悩みました。

そして、開き直りました。「むしろ、この理不尽を楽しもう!」と。そうして、読み方が分からない漢字も堂々と読み上げ、知らないことは正直に知らないと答え、突然30秒のスピーチを求められても、苦戦しながらなんとか笑顔でやり切りました。そして来たる年末の12月18日、私はありがたいことに市役所から採用通知をいただきました。

この結果は、決して私一人が得たものではありません。多くの助言や励ましの言葉を下さった先生方やキャリアセンターの方々、精神的に辛かった時を支えてくれた友人や同級生たちに、心より感謝を申し上げます。

そして、これから就職活動を始める方々へ。これから辛いことも苦しいこともあるかもしれませんが、上手くいかないことに憤ることも、緊張することもあるかもしれません。その時はぜひ、物語の主人公になった気持ちで、笑顔を浮かべましょう。皆様のご健闘を、心よりお祈りしております。



## 人間発達学部 子ども発達学科

### 4年生 田中 愛巳

私の内定先は新潟県の小学校教諭です。私は内定先が確定するまでずっと悩み続けてきました。そのため、心配から大学生活も資格や体験活動に力を入れ、将来のためになるような経験を積極的に取り組んできました。しかし、その時はその活動に夢中になり自分が何をやりたいのか分からなくなっていて結果的に自分と向き合う時間があまり取れていなかったように思います。その理由も、私自身ももとは保育士を目指して大学に入学し、学んでいく中で小学校教諭に惹かれていき小学校のゼミを選択してきたものの、挑戦してみたい気持ちはあっても自信がなく、なかなか踏み切れない自分がいました。



そんな中の一般企業の就職活動はやりたいことを一つに絞れず、難航していて、並行して取り組んで

いた教員採用試験の勉強にも力が入らないような状況が続き、就活終盤の時期に入りました。結果的に一般企業では内定をもらうことができたが、愛知県の採用試験は不合格となり、本当にこれでいいのかとよく考えるようになりました。

私は、小学校教諭に関係することを多く学んできて実習も楽しく感じたことを思い出し、その力を活かした方がいいと考え、最終的に決めたのは小学校教員でした。その頃にはどの県も試験が終わっており、来年からは講師として働こうと決めましたが、新潟県で秋募集があることを教授から教えていただきました。

その後、新潟で内定をもらい、今まで様々なことに挑戦してきたことを思い出し、少しの間でも新しい土地で経験を深めようと決意しました。これからも私自身様々なキャリアを踏んでいくと思いますが、挑戦することを忘れずに頑張っていきたいと思っています。

これから就職される方は、自分を見つめ直すこと、目標に向かって何か取り組んでみることを考えて、今できることを周りと協力して頑張ってください!





第5回

Award selection

## 第5回後援会賞授与式

第52回名古屋芸術大学卒業・修了制作展が、2025年2月15日～2月24日に西キャンパスで開催されました。在学生の集大成となる力作に感動し、ため息の連続でした。名古屋芸術大学後援会賞を4名の学生に授与させていただきました。

卒業生、修了生の皆さんのさらなる活躍と飛躍をお祈り申し上げます。

領域	デザイン領域 テキスタイルデザインコース
氏名	西川 友斗さん
作品名	ワクワクオノマトペ
領域	デザイン領域 スペースデザインコース
氏名	望月 梨帆さん
作品名	歌っちゃう家具
領域	美術領域 日本画コース
氏名	木田 康仁さん
作品名	道
領域	デザイン領域 先端メディア表現コース
氏名	寺田 太一さん
作品名	ゆ〜びリング



西川 友斗 / ワクワクオノマトペ



望月 梨帆 / 歌っちゃう家具



木田 康仁 / 道



寺田 太一 / ゆ〜びリング



## 第52回名古屋芸術大学卒業・修了制作展 優秀賞

第52回名古屋芸術大学卒業・修了制作展の優秀賞が発表されました。

領 域	コース	学生名	作品タイトル
美術	日本画	秋元 真愛	くつろぎ
美術	日本画	中島 梨瑠	勇往邁進
美術	日本画	和久田 尚希	混在に碧
美術	洋画	都築 真由	春の葬式
美術	洋画	若林 濃	吉し紛れのParadise!
美術	洋画	大澤 綺	ひとやすみ
美術	洋画	加納 慶斗	身寄
美術	洋画	葛谷 菜々子	混淆
美術	洋画	篠原 美結	まちを歩く
美術	洋画	新山 はな	見た景色はすべて私を受け入れてくれる気がした
美術	洋画	半田 藍	Mofu
美術	現代アート	新保 あさひ	a small world
美術	コミュニケーションアート	石川 清菜	バスルーム
美術	コミュニケーションアート	藤原 暖生	deity of greed
美術	工芸	古池 拓人	アソビ
デザイン	ヴィジュアルデザイン	鈴木 雅也	線は呼吸している
デザイン	ヴィジュアルデザイン	松尾 侑樹	ニューオノマトペ
デザイン	イラストレーション	加藤 晴菜	2人の語り手
デザイン	イラストレーション	渡邊 銀心	The kebab sandwich, held by a man with a Japanese sword, costs 635yen
デザイン	先端メディア表現	木下 朋香	AnoRea/Stellarise.
		前田 翔勇	
		山形 篤輝	
		高橋 美優 (VD)	
デザイン	先端メディア表現	平松 咲希	せんすいくんと海たちの声
デザイン	メディアコミュニケーション	竹内 爽夏	しぐさ
デザイン	メディアコミュニケーション	樋廻 里彩	PET
デザイン	ライフスタイル	坂部 浩二郎	死語リサイクル
デザイン	ライフスタイル	谷村 芽依	「空-くう-」の可能性
デザイン	カーデザイン	有馬 かこ	SCALE
デザイン	インダストリアル&セラミックデザイン	柴田 優希	Shape of Comfort
デザイン	インダストリアル&セラミックデザイン	山中 千尋	Let's go! 自然探検隊プロジェクト
デザイン	スペースデザイン	鳥山 未愛	Pam chair
デザイン	スペースデザイン	小松 千聖	amumaku → ? - 遊びが発展する未完成の遊びコンテンツ -
デザイン	スペースデザイン	平田 賢	Phil Leaf Interior
デザイン	テキスタイルデザイン	川邊 なな	ナナイロはニジイロではない
デザイン	メタル&ジュエリーデザイン	澤木 亮壮	かもしれない
デザイン	文芸・ライティング	各務 里音	ある夏休みの月めぐり
デザイン	文芸・ライティング	西村 咲良	ボース・キグロス・踊る造花の見た夢は
芸術教養	リベラルアーツ	田島 春佳	マンガの制作者になるために〜物語がマンガになるプロセスについての考察と実践〜
芸術教養	リベラルアーツ	田代 凜	国府宮はだか祭りからみる祭りの存続性について



## 最優秀賞 / 北名古屋市市長賞 / 教育委員会賞 / 企業賞

第52回名古屋芸術大学卒業・修了制作展授与式にて最優秀賞 / 北名古屋市市長賞 / 教育委員会賞 受賞者発表されました。

賞 名	コース	学生名	作品タイトル
最優秀賞	ヴィジュアルデザイン	鈴木 雅也	線は呼吸している
北名古屋市市長賞	工芸	古池 拓人	アソビ
北名古屋市教育委員会賞	洋画	都築 真由	春の葬式

第52回名古屋芸術大学卒業・修了制作展に企業様よりご協賛いただきました、「企業賞」が発表されました。

名古屋芸術大学美術・デザイン同窓会賞	コミュニケーションアート	竹田 歩里	家の環
一般社団法人名古屋芸術大学美術・デザイン同窓会様より	メディアコミュニケーションデザイン	菱田 夏未	snail's ecology and fieldsign
学生食堂賞	コミュニケーションアート	堀川 ほのか	ネギを信じよ
共栄食品株式会社様より	スペースデザイン	高橋 隼	餅つきのしつらい
画荘ヴィーナス賞	洋画	都築 真由	春の葬式
株式会社画荘ヴィーナス様より	美術総合	熊崎 敦士	金鯢鐵鏝鈎十一鑑図
CBC 賞	コミュニケーションアート	竹田 歩里	家の環
CBC 様より	日本画	中島 梨瑠	勇往邁進
東海テレビ放送賞	スペースデザイン	平田 賢	Phil Leaf Interior
東海テレビ放送様より	メディアコミュニケーションデザイン	樋廻 里彩	PET
ジェイアールセントラルビル賞	コミュニケーションアート	浅井 優菜	蠅の火
ジェイアールセントラルビル株式会社様より	現代アート	水野 大輝	育む
古川美術館賞	ヴィジュアルデザイン	池田 琴葉	kimonoier ~着物リメイクで繋ぐ思い~
公益財団法人古川知会様より	メディアコミュニケーションデザイン	藤井 宮妃	かなの派生
立風賞	大学院 絵画研究 洋画制作	徐 晨曦	内面の物語
立風製陶株式会社様より	洋画	岡崎 尚登	天才卒業式
立風製陶株式会社様より	洋画	進 華愛	眼 界
立風製陶株式会社様より	日本画	中島 梨瑠	勇往邁進
立風製陶株式会社様より	日本画	水谷 堯姫	アンノウン・トモシビ
立風製陶株式会社様より	コミュニケーションアート	竹田 歩里	家の環
立風製陶株式会社様より	美術総合	熊崎 敦士	金鯢鐵鏝鈎十一鑑図
立風製陶株式会社様より	日本画	和久田 尚希	混在に碧
立風製陶株式会社様より	洋画	大澤 綺	ひとやすみ
立風製陶株式会社様より	美術総合	熊崎 敦士	金鯢鐵鏝鈎十一鑑図
立風製陶株式会社様より	工芸	佐藤 圭	Finale
加藤画材店賞	インダストリアル&セラミックデザイン	鈴木 柚那	ツチノネ
株式会社加藤画材店様より	日本画	小野田 虎之助	夢うつつ
美濃紙芸賞	日本画	木田 康仁	道
美濃紙芸様より	インダストリアル&セラミックデザイン	山部 悠斗	Grow chair
名古屋みなと鳥屋書店賞	日本画	太田 敦崇	創世龍皇神 ラディアント・エルドラド
名古屋みなと鳥屋書店様より	コミュニケーションアート	出口 佳音	誘惑の開花
ギャラリー MOS 賞	日本画	犬塚 菜々美	菜のはな
有限会社松本紙店様より	日本画	木田 康仁	道
ギャラリーかんしょ賞	洋画	上木 彩加	冷め空に舞い
株式会社ハート・アンド・ライブ様より	日本画	太田 清	ZOO
MOZO ワンダーシティ賞	ヴィジュアルデザイン	真田 遥佳	緑葉の律動
MOZO ワンダーシティ様より	ライフスタイルデザイン	坂部 浩二郎	死語リサイクル



28th

## 2024 年度 第 28 回ブライトン大学賞授与式

2025 年 2 月 21 日 (金)、西キャンパス B 棟大講義室にて、「第 52 回名古屋芸術大学卒業・修了制作展 優秀賞授賞式」および「第 28 回ブライトン大学賞 授与式」が開催されました。

本学は、学術交流協定を結んでいるブライトン大学 (英国) アート&メディア学部と本学芸術学部との間で、両大学の交流の一環として、毎年、卒業・修了制作展の時期にブライトン大学から本学の学生に対してブライトン大学賞を、また、ブライトン大学の卒業・修了制作展の時期に本学から後援会の協賛を得てブライトン大学の学生に名芸賞を授与しています。今回で 28 回目となるブライトン大学賞の選考には、ブライトン大学アート&メディア副学部長のシャルロット・グルド博士 (Dr. Charlotte Gould) および同学部のジェレミー・ラドヴァン先生 (Jeremy Radvan) に審査員を務めていただきました。本学からノミネートされた 28 件の作品の中から、オンライン審査により、グランプリ 1 件、優秀賞 1 件、奨励賞 2 件、佳作 6 件の合計 10 件の受賞作品が選定されました。



なお、2020 年に発生した新型コロナウイルス感染症のパンデミック以前は、賞の審査員を相互に派遣し、各大学で実地審査を行っていましたが、2020 年以降はインターネットを活用したオンライン審査が行われています。

現在、国際交流センターでは、ブライトン大学インターナショナルオフィスと交換留学の再開および学術交流協定の更新に向けて協議を進めており、交換留学の再開が見込まれています。今後も、国際交流センターは、名古屋芸術大学とブライトン大学との間の交流をさらに深めるために尽力してまいります。



賞	領域・コース	氏 名	作品名
グランプリ	デザイン領域 メディアコミュニケーションデザインコース	樋廻 里彩	PET
優秀賞	美術領域 洋画コース	若林 凜	苦し紛れの Paradise !
奨励賞	デザイン領域 インダストリアル&セラミックデザインコース	柴田 優杏	Shape of Comfort
	デザイン領域 インダストリアル&セラミックデザインコース	鈴木 柚那	ツチノネ
佳作	美術領域 コミュニケーションアートコース	城所 ななみ	少女 幼気なぽこぽこ 少女 健気にしんしん 少女 ぐるぐると憤む
	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	伊藤 千晴	無常
	デザイン領域 イラストレーションコース	前澤 未空	Farewell
	デザイン領域 スペースデザイン	鳥山 未愛	Pam chair
	美術領域 工芸コース	後藤 珠里	Peek in yourself...
	美術領域 日本画コース	和久田 尚希	混在に碧



## 名古屋芸術大学賞

名古屋芸術大学と学術交流協定を締結している  
ブライトン大学アート&メディア学部(英国)  
の卒業作品展「Brighton Summer Shows '24」  
において、名古屋芸術大学賞の審査及び授与を  
行いました。

2020 年度以降、毎年、オンラインによる審  
査を行っており、今年度も同様にオンラインに  
よる審査を行いました。ノミネートされた 11  
作品から今年度の審査においても、デザイン領  
域と美術領域の専任教員による 投票によって  
幅広い観点からより精度の高い審査が行われま

した。その結果、グランプリ 1 作品、優秀賞  
2 作品及び奨励賞 3 作品の計 6 つの受賞作品  
が選定されました。受賞作品の内訳は、下記  
のとおりです。な お、これらの受賞作品を含む  
「Brighton Summer Shows '24」の展覧作品  
は、ウェブ上に公開されており、次の URL か  
らご覧いただくことができます。

<https://www.brighton.ac.uk/summer-shows>

### Nagoya University of the Arts Awards for the University of Brighton Graduate Show 2024

No.	Award / 賞名	Prize / 賞金	Name/ 名前	Course / コース
1	Grand Prix グランプリ	£ 300.00	Jasmine Gillanders	Fashion Communication
2	Award of excellence 優秀賞	£ 200.00	Tilda Tribbeck	Printmaking
3	Award of excellence 優秀賞	£ 200.00	Liz Wright	Fine Art
4	Incentive award 奨励賞	£ 100.00	Emily Nell Vickers	Textile Design
5	Incentive award 奨励賞	£ 100.00	Kinal Patel	Graphic Design
6	Incentive award 奨励賞	£ 100.00	Olive Cole-Wire	Illustration



## 第52回名古屋芸術大学卒業制作展(美術領域・デザイン領域・芸術教養領域)

第52回名古屋芸術大学卒業制作展を2025年2月16日(土)～24日(月)[10日間]の会期で、本学西キャンパスにて開催致しました。キャンパスの屋内外全域を使い、多様な形式による約300点の研究成果が公開展示されました。今期間中は、数日の低温日もございましたが、前年をしのぐ6626人の皆様にご入場頂きました。



夕暮れの正門赤ゲート

名古屋みなと蔦屋書店賞  
「誘惑の開花」山口佳音  
(美術・コミュニケーションアート)

今回会場をくまなく見て回りました印象は、今私たちは、WEBやSNSを当たり前に暮らしに取り入れ、手間なく欲する行為の代行や情報取得、仮想体験などを

叶えています。そうした中、どうやら多くの人々が、どこか“感覚の確からしさ”に不安を覚え、この補完を希求しているように思えます。多くの展示物のメッセージに心を寄せると、そこには「本当」「本物」「本心」「本質」「本来」といった「本」を問い直す、または再評価しようとする意図を持つものを多く見かけました。「芸術の創造的な営みは、時代を映す鏡」であることを改めて強く感じました。



Photo Credit: Hironori Tsukue

卒展記念講演会講師：ひびのこずえさん(左)／木田真理子さん(右)

卒展最優秀賞「線は呼吸している」  
鈴木雅也(デザイン・ヴィジュアルデザイン)

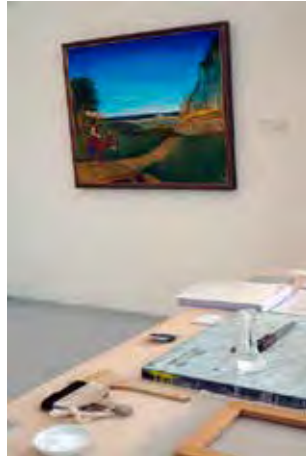
今年度も卒展関連企画として、2本の記念講演会の他、様々な企画を用意しました。講演会第1弾は、コスチューム・アーティストの”ひびのこずえ”さんにご登壇頂き「ふくであそぼ」を演題に講演を行って頂きました。ひびのさんは、メッセージ性、記号性の強い衣服、または身に纏うオブジェとも言える表現をメディアとして多様なシーンで活躍するアーティストです。講演では、飼い慣らされた視座の呪縛から逃れ、自身のオリジナルな見方で世界を見ることの大切さを強調されました。講演会第2弾は、舞台芸術領域完成年度を記念して、ダンサーの”木田真理子”さんをお招きしました。木田さ

加藤画材賞／ブライトン大学賞奨励賞「ツチノネ」鈴木柚那  
(デザイン・インダストリアル&セラミックデザイン)

さんは日本人で初めてロシアのブノワ賞を受賞した世界的なバレエダンサーです。当日は、演題を「線を残すことと可能性をひらくこと」としてお話し頂きました。現状に満足せず、常にアップデートする身体表現者としての挑戦にプロとしての覚悟と凄味を感じるお話しでた。会期中には、今年度末で退職される片岡裕司教授(デザイン領域)の最終講義も公開され、「失敗を重ねる」「10年後を読む」「手信じ指先で考えろ」といった力強いメッセージを私

たちに残してくれました。この他、ウィークエンドコンサート、NUA ART SHOP、卒展ラジオ「ア”ラジオ」、[名芸大チャリティーオークション]も作品鑑賞の合間の素敵な時間を提供していました。

第52回展は、300名余りの学生たちの多様なメッセージをこだ



卒展優秀賞「見た景色はすべて私を受け入れてくれる気がした」  
新山はな（美術・洋画）

まさせつつ、無事に閉会致しました。卒展は、名芸大の教育研究成果発信の中核事業に位置付けられており、次年度からも学生たちの研鑽の質をさらに高めることを前提に、さらなる充実・発展に努めたいと思います。最後になりましたが、本展の全ての関係者、支援者の皆さまには引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

芸術学部長 萩原 周

## 第 29 回名古屋芸術大学大学院 修了制作展（美術研究科）

学部卒業制作展と同時に開催された大学院美術研究科修了制作展では、今年度、日本画制作6名、洋画制作6名、同時代表現研究4名、工芸制作2名の計18名の大学院生により、大学院生活2年間の集大成となる作品の展示が行われました。

同時代表現研究の大矢龍洋さんはインクで繊細に描かれた平面作品と木材や照明など、幾つかの素材を組み合わせた立体的な構造物となる作品群をギャラリースペースに展示構成し、多角的な観点を持ち得たインスタレーションを作り上げ、ケイ ウメイさんは陶による人や花、動物などの自作のオブジェを互いに逆方向に回転する2つの台に載せ、展示方法に動きをもたらすことで人や物事の関係の流動性について表現しました。また、社会の中で降りかかる様々な要求に完璧に応えようとする自身の態度と、本来あるべき「私」との乖離を一人の女性像をモチーフとして描いた日本画制作の周珂名さんは、中国水墨画の



線による表現を現代日本画に取り入れ、日中の伝統的な手法や材料を実験的に共存させる絵画制作を試み発表しました。

各々の希望による展

示場所の選定により、学内の施設の特徴が存分に活用された展示形式では、作品を作るだけでなく、今後社会において作家として活動する上で必須となる、他者からの理解を得るために作品をプレゼンテーションする力がより明確に意識されている展示となっており、2年間で獲得した経験や知識、技術の向上を形ある／目に見える成果として皆様にお届けできる貴重な機会となったように思います。

今年度修了した18名がこれからどのような環境に身を置き活躍の場を広げていくのか、教員としても一作家としても非常に楽しみです。今後の皆さんの活動を心から応援しています。

美術研究科長 秋吉 風人





## 第29回名古屋芸術大学大学院 修了制作展（デザイン研究科）

卒業制作展と同時に、大学院修了制作展が実施されました。今年度は在籍学生が26名と例年より多く、A&Dセンターに加え、体育館など複数の会場での実施となりました。デザイン研究科は6つの領域に分かれており、各領域で多様な表現手法やメディアを駆使した作品が展開されました。これらの作品は、専門性に根ざしたテーマのもと、2年間にわたる研究と分析のプロセスを経て制作されたものです。

3Dデザイン研究のOTSU GIULIA MIZUEさんは、「錫」の素材・技法を分析し、日本の伝統的な遊びである「折り紙」と組み合わせ、独自の視点で研究を展開しました。展示では、多くの試作を交えながら研究プロセスを視覚的に分かりやすく構成し、研究成果の展開の可能性を広く示しました。



「錫おり」～デザインにおける折り紙技法の応用研究～  
OTSU GIULIA MIZUE

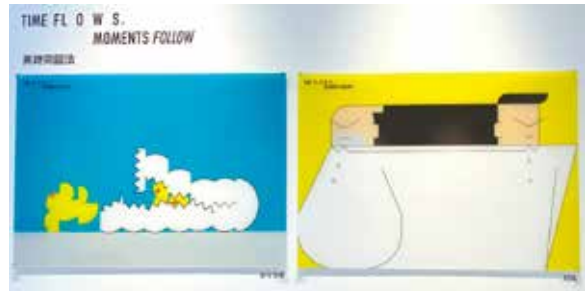
メディアデザイン研究の楠部由桜さんは、人工知能(AI)をテーマに、言語や文章を解釈するメカニズムを分析し、それを視覚的に変換する作品を制作しました。AI技術が進化するなか、言語・文章表現の構造解明や新たな表現の可能性を探る意欲的な試みとなっています。



ある解読者 楠部 由桜

ヴィジュアルデザイン研究の田夢宇さんは、ヴィ

ジュアルデザインの「二次元」という制約に着目し、時間軸を取り入れた「異時同図法」を用いた表現に取り組みました。極端に簡略化・図形化された作品は、新たな視点からのヴィジュアル表現の可能性を探るものとなっています。



TIME FLOWS MOMENTS FOLLOW 田 夢宇

ライフスタイルデザイン研究の南 隆之介さんは、「千本ゑんま堂大念佛狂言」という京都の民俗芸能を研究テーマに据え、論文としてまとめました。展示では論文を軸に、図版や映像、立体物を交えたわかりやすさの工夫がされており、伝統文化の継承という社会的な課題を考えさせる内容となっています。



伝統と革新：千本ゑんま堂大念佛狂言を例として 南 隆之介

そのほかにも、各領域の専門性を独自の視点で掘り下げた作品が多く展示されました。今回の展示では昨年の入場者数を上回り、多くの方にご来場いただきました。大学院修了制作展は、2年間の集大成を示す場であると同時に、研究の社会的意義を発信する機会でもあります。ご来場くださった皆さまに深く感謝いたします。

学生の皆さんは、それぞれ新たな一歩を踏み出すこととなりますが、今後も研究の意義を忘れず、社会と関わりながら発展させていくことを期待しています。

デザイン研究科長 則武 輝彦

## 皆さん受賞おめでとうございます

2024年度の本学在学学生(学部及び大学院生)や卒業生の展覧会や各種コンクール等における受賞結果を報告します。  
学外のイベントでの受賞者については、本人及び教員を通じて広報部に報告があった内容を掲載しています。

### 芸術学部音楽領域・大学院音楽研究科

日付	イベント名	主催	順位、受賞など	楽器など	学年・卒業期	氏名
2024年						
4月1日	第46回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール	東京国際芸術協会	大学生の部審査員賞 大学生の部入選	フルート フルート	音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 ウインドアカデミーコース 4年	伊藤 優寿 村田 楽人
4月27日 ～ 5月4日	第14回岐阜国際音楽祭コンクール	岐阜国際音楽祭実行委員会	大学の部 第2位	声楽	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	渡邊 美音
6月15日	World Grand Prix International Music Contest	World Online Music Competitions Organization	Original Composition部門 Platinum Prize Distinguished Creativity Special Award	作曲	音楽学部 音楽文化創造学科 作曲・理論コース 2009年度卒業生	加藤 智美
7月27日	チェコ音楽の祭典コンクール2024	一般社団法人日本チェコ友協会	ピアノ ピアノ部門 入賞	フルート	音楽領域 音楽総合コース 4年	伊藤 優寿
8月1日	6th International Island Piano Festival Competition	International Island Piano Festival Competition	ファイナリスト	ピアノ	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究 2年	石川 奈々歩
8月3日	第10回とやまクラシックピアノコンクール	とやまクラシックピアノコンクール実行委員会	Fコース 奨励賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 4年	柳澤 実尋
8月7日	第6回京都国際音楽コンクール	京都国際音楽祭・京都国際音楽コンクール実行委員会	大学生・一般の部 銀賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	榊原 未来
8月7日	第10回刈谷国際音楽コンクール	刈谷国際音楽コンクール実行委員会	奨励賞	フルート	音楽領域 音楽総合コース 4年	福田 京
8月16日	第20回アジア国際音楽コンクール	音楽文化促進団体日本音楽審議会	大学生ピアノ部門 第3位	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	アウヤン ウェイナ
8月21日	第27回松方ホール音楽賞	神戸新聞	奨励賞(次点)	ピアノ	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究 2年	石川 奈々歩
8月31日	第20回ルーマニア国際音楽コンクール	NPO法人日本ルーマニア音楽協会	ピアノ部門 1位	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 1年	星野 悠羽
9月1日	第22回東京音楽コンクール	公益財団法人東京都歴史文化財団東京文化会館 読売新聞社 花王株式会社 東京都	声楽部門 第3位	声楽	音楽領域 音楽総合コース (旧音楽学部演奏学科音楽総合コース) 2014年度卒業生	山田 知加
9月7日 ～ 9月8日	第33回宝塚ベガ音楽コンクール	宝塚市 公益財団法人宝塚市文化財団 宝塚ベガ音楽コンクール委員会	入選 ピアノ部門 2位及び聴衆審査員特別賞 声楽部門 第1位	ピアノ ピアノ 声楽	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究 1年 音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 1年 音楽領域 音楽総合コース (旧音楽学部演奏学科音楽総合コース) 2014年度卒業生	福田 万弥 星野 悠羽 山田 知加
9月9日	第93回日本音楽コンクール	毎日新聞社 日本放送協会	ピアノ部門二次予選入選	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	榊原 未来
9月17日	World Grand Prix International Music Contest	World Online Music Competitions Organization	Original Composition部門 Gold Prize	作曲	大学院 音楽研究科 音楽専攻 作曲研究 2年	後藤 青空
9月19日	TALENT SUMMER INTERNATIONAL COMPETITION	Talent Music Summer Courses and Opera&FESTIVAL	第2位	ピアノ	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究 2年	秋山 紗穂
9月29日 ～ 10月27日	第29回みえ音楽コンクール	みえ音楽コンクール運営委員会 三重県 三重県文化会館	大学生以上一般の部A 第3位 大学・大学院生の部 第2位 大学・大学院生の部 第3位 大学生以上、一般の部 奨励賞	フルート 声楽 声楽 ピアノ	音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 声楽コース 3年 大学院 音楽研究科 声楽専攻 声楽研究 1年 音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	伊藤 優寿 中西 和音 伊藤 優里 近藤 叶実
10月1日	第26回日本演奏家コンクール	一般財団法人日本演奏家協会	大学生部門 全国大会入選	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	石田 京香
10月11日 ～ 10月12日	第25回大阪国際音楽コンクール	大阪国際音楽振興会	デュオ部門 ファイナル入選 デュオ部門 ファイナル入選 木管楽器部門 第3位 フルート部門 第1位 木管楽器部門 Age-Uファイナル入選 金管楽器部門 Age-Uファイナル入選 金管楽器部門 Age-Uファイナル入選	トランペット トランペット フルート クラリネット トランペット ユーフォニアム	音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 音楽総合コース 3年 音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 弦管打コース 2年 音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 弦管打コース 2年	佐藤 真梨菜 永松 花菜 福田 京 小森 稜大 佐藤 真梨菜
10月13日	第78回全日本学生音楽コンクール名古屋大会	毎日新聞社	声楽部門 大学の部 第3位	声楽	大学院 音楽研究科 声楽専攻 声楽研究 2年	深谷 美羽 堀江 七海
11月10日	K木管楽器コンクール	一般社団法人K国際コンクール	オーボエ部門動画審査部門 優秀賞	オーボエ	音楽領域 音楽総合コース 2年	増田 凜子
11月14日	第16回熊谷ひばりピアノコンクール	熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化振興実行委員会 熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会	G-1部門 金賞及び埼玉県知事賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 4年	柳澤 実尋
11月23日	第41回JPTAピアノオーディション	公益財団法人日本ピアノ教育連盟	地区大会優良賞 地区大会優秀賞	ピアノ ピアノ	音楽領域 鍵盤楽器コース 3年 音楽領域 音楽総合コース 3年	楠田 ゆい 花島 未桜
11月24日	第27回長江杯国際音楽コンクール	中国音楽理事会	声楽部門 大学の部 第1位及び理事長賞	声楽	大学院 音楽研究科 声楽専攻 声楽研究 2年	堀江 七海
11月24日	第4回かわさきピアノコンクール	かわさきピアノコンクール運営委員会	F部門 入選	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 4年	柳澤 実尋
11月29日 ～ 12月11日	第34回日本クラシック音楽コンクール	一般社団法人日本クラシック音楽協会	全国大会 入選 全国大会 声楽部門大学女子の部 第4位 全国大会 声楽部門一般の部 第5位 全国大会 大学の部 入選 全国大会 入選 全国大会 入選	クラリネット 声楽 声楽 フルート ユーフォニアム ユーフォニアム	音楽領域 弦管打コース 2年 大学院 音楽研究科 声楽専攻 声楽研究 2年 音楽領域 ディプロマ受講生 1年 音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 音楽総合コース 2年 大学院 音楽研究科 器楽専攻 音楽器演奏研究 1年	小森 稜大 堀江 七海 佐藤 奈那江 伊藤 優寿 奥 友伽 鈴木 貴翔
12月6日 ～ 12月7日	ReCトST (レックス) "第10回 学生の制作する音楽録音作品コンテスト"	一般社団法人日本オーディオ協会	優秀賞 優秀企画制作賞	- -	音楽領域 音楽総合コース 4年 音楽領域 音楽総合コース 3年	中村 颯汰 日比 奏妙
12月9日	Campllos International Piano Competition	AYUNTAMIENTO DE CAMPILLOS CONCEJALIA DE CULTURA	セミファイナリスト	ピアノ	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究 2年	秋山 紗穂
12月17日	第11回東京国際ピアノコンクール	東京国際芸術協会	審査員賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 1年	奥川 真栲
12月23日	第18回ベートン音楽コンクール	ベートン音楽協会	大学・院生A部門 全国大会入選	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース 2年	石田 京香



芸術学部音楽領域・大学院音楽研究科

日 付	イベント名	主 催	順位、受賞など	楽器など	学年・卒業期	氏 名
2024 年						
12月25日	第9回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア	ベートーヴェン国際ピアノコンクール アジア事務局	E部門中門予選 優秀賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース1年	夏目 美歩
12月26日	第3回日本国際音楽コンペティション	日本国際音楽コンペティション	ピアノ部門大学生 (F) 第3位	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース2年	アウヤン ウェイナ
12月26日	第11回なごや青少年ピアノコンクール	なごや青少年ピアノコンクール 特定非営利活動法人みどり音楽祭 公益財団法人名古屋文化振興事業団 【緑文化小劇場】	大学・大学院生部門 優秀賞	ピアノ	音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース2年	横原 未来
12月28日	第15回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan	ヨーロッパピアノ協会	大学・大学院生部門 第1位 名古屋市長賞 大学A部門 銀賞	ピアノ	大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ演奏研究1年 音楽領域 プロフェッショナル アーティストコース4年	福田 万弥 柳澤 実尋
2025 年						
1月13日	第30回KOBEO国際音楽コンクール	KOBEO国際音楽コンクール実行委員会	打楽器C部門 入選	パーカッション	音楽領域 音楽総合コース4年	都築 陽奈
			打楽器C部門 入選	パーカッション	音楽領域 音楽総合コース3年	丸山 侑輝

芸術学部美術領域・大学院美術研究科

日 付	イベント名	主 催	順位、受賞など	学年・卒業期	コース	氏 名
2024 年						
6月26日 ～ 6月30日	国際公募第7回国際芸術展	NPO法人日中国際交流センター	優秀賞	2年	美術領域 洋画コース	秦 康庭
8月17日 ～ 8月25日	第3回古川美術館Fワード	公益財団法人古川知足会古川美術館	中日新聞社賞	4年	美術領域 洋画コース	胡 蔚嵐
8月17日 ～ 9月1日	第5回びふ美術展	岐阜県	奨励賞	3年	美術領域 日本画コース	廣瀬 芽依
7月3日 ～ 7月7日	第8回新日春展東海展	新日春会	中日新聞社賞	2年	大学院 美術研究科 美術専攻 絵画研究 日本画制作	チョウ プンキン
11月1日 ～ 11月24日	第11回日展	公益社団法人日展	特選	1977年3月卒業	美術学部 絵画科 日本画専攻	木村 友彦
11月26日 ～ 12月1日	第41回中部春陽2024年展	中部春陽会	新人賞	4年	美術領域 洋画コース	都築 真由
12月24日 ～ 2025年1月5日	第19回翔ナ！CBC二十歳の記憶展	中部日本放送株式会社 (CBCテレビ) 株式会社CBCラジオ	準グランプリ	4年	美術領域 工芸コース	後藤 珠里
			審査員特別賞	4年	美術領域 コミュニケーションコース	竹田 歩里
			準グランプリ	3年	美術領域 洋画コース	堀出 奏月
2025 年						
1月22日 ～ 2月9日	第11回日展名古屋展	公益社団法人日展中部日展会	CBCテレビ賞	2008年3月修了	大学院 美術研究科 美術専攻 絵画研究 日本画制作研究	福本 百恵
			中日新聞社賞	2018年3月修了	大学院 美術研究科 美術専攻 絵画研究 日本画制作	山守 良佳

芸術学部デザイン領域・大学院デザイン研究科

日 付	イベント名	主 催	順位、受賞など	学年・卒業期	コース	氏 名
2024 年						
5月2日	第393回スピリッツ賞	株式会社小学館	奨励賞	2018年3月卒業	デザイン領域 イラストレーションコース	谷川 司 (PN. たにがわつか)
6月4日	新人漫画賞SPARK24年4月期	集英社のジャンプSQ (スクエア)	準入選	3年	デザイン領域 文芸・ライティングコース	齋岡 樹
6月13日	第1回学校課題投稿漫画賞	株式会社集英社	努力賞	3年	デザイン領域 イラストレーションコース	PN. うおひらご
8月30日	第41回くしげマンガ賞	株式会社新潮社	期待賞	2018年3月卒業	デザイン領域 イラストレーションコース	大須賀 健 (PN. 大須賀たけ丸)
11月9日 ～ 2025年1月25日	日本インテリア学会第31回卒業作品展	日本インテリア学会	最優秀作品賞	2024年3月卒業	デザイン領域 スペースデザインコース	黒木 星治
11月21日 ～ 12月1日	第69回美濃加茂市美術展	美濃加茂市	優秀賞	2年	デザイン領域 メタル&ジュエリーコース	松本 沙莉
11月27日 ～ 12月9日	JAGDA国際学生ポスターアワード2024	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会	審査員賞 (左ひとみ賞) 協賛企業特別賞 (マスカビ賞) 協賛企業特別賞 (日本デザインセンター賞)	3年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	佐藤 里帆
			入選	3年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	坂本 凖彩
			入選	3年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	国本 由蘭
			入選	3年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	鈴木 幸太
			入選	3年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	鈴木 麻桜
			入選	4年	デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース	鈴木 雅也
11月28日 ～ 12月10日	JID AWARD 2024	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会	インテリアプロダクト ネクストエイジ部門 銀賞	1年	大学院デザイン研究科 デザイン専攻 3Dデザイン	杉浦 泰徳
12月11日	第113回少年マガジン新人漫画大賞	株式会社講談社	佳作	3年	デザイン領域 イラストレーションコース	PN. Neighbour
12月29日	J&Sセントラルタワース開業25周年 ロゴマーク学生コンペ	ジェイアールセントラルビル株式会社	コンペ採用	2年	デザイン領域 メタル&ジュエリーコース	今井 雄大
2025 年						
1月23日	週刊ヤングジャンプ (JUMP) 新人漫画大賞 第28回 (11月期)	株式会社集英社	期待賞 (JUMP)	2019年3月卒業	デザイン領域 イラストレーションコース	伊藤 明日香 (PN. ほんちゅ)
2月5日	新世代サンデー 2024年度11月期	株式会社小学館	奨励賞以上 [内定]	3年	デザイン領域 イラストレーションコース	PN. うおひらご
3月5日 ～ 3月6日	ジャパンテキスタイルコンペティション	公益財団法人尾州ファッションデザインセンター	シーズ賞	3年	デザイン領域 テキスタイルデザインコース	内田 純平 清水 咲和 伊藤 朱里 鈴木 心彩紀

## 国際交流事業について

北名古屋市子ども芸術教室（美術）・（音楽）  
2024 年度交換留学生作品展 前期・後期

2024 年度は、これまで世界的なパンデミックの影響で混乱や支障が続いていた私費及び国費留学生の受入れ並びに本学と外国大学等との間において締結する学術交流協定に基づく外国大学等から本学への交換留学生の受入れ、及び本学から外国大学等への交換留学生（本学学生）の派遣が正常化してきました。2020 年度以降、本学で受け入れる外国人留学生の数も毎年増加傾向となっています。

これに加え、同年度前期においては、ブレーメン芸術大学（ドイツ）から 1 名、UCA 芸術大学（英国）から 1 名、サンテティエンヌ高等美術デザイン学校（フランス）から 4 名の計 6 名の交換留学生を、また、同年度後期にお

いては、ブレーメン芸術大学から 2 名、弘益大学（韓国）から 2 名の計 4 名の交換留学生を受け入れました。また、同年度後期においては、サンテティエンヌ高等美術デザイン学校（フランス）に 1 名、弘益大学（韓国）に 2 名の計 3 名を本学から派遣しました。

2024 年度における当センターの主な実施事業としては、ブライトン大学卒業制作展名古屋芸術大学賞（6 月）、前期受入交換留学生展（7 月）、北名古屋市国際交流協会子ども芸術教室（美術）（7 月）、後期受入交換留学生展（12 月）、北名古屋市国際交流協会子ども芸術教室（音楽）（11 月）、名古屋芸術大学卒業制作展ブライトン大学賞（2 月）等が挙げられます。

### 北名古屋市子ども芸術教室（美術）

2024 年 7 月 15 日（土）、本学西キャンパスにおいて、「北名古屋市子ども芸術教室（美術）」を開催しました。このイベントは、毎年、同事業を主催する北名古屋市国際交流協会からの依頼を受けて、北名古屋市内の小学生が留学生との交流や芸術（美術）を体験することのできる機会として実施されてきているものです。

2024 年度の本事業においては、30 名ほどの小学生及びその保護者等並びに本学に在籍す



る私費留学生及び日本人学生が参加しました。参加した小学生は、私費留学生を含む



本学学生の指導により、絵画体験を行い、西キャンパス内の各所でそれぞれモデルとして選んだものを描いて、昼食を挟んで色付けし、最後に、それぞれのグループに分かれて作品発表と意見交換を行いました。





### 北名古屋市子ども芸術教室（音楽）

2024 年 11 月 30 日（土）、本学東キャンパスにおいて、「北名古屋市子ども芸術教室（音楽）」を開催しました。このイベントは、毎年、同事業を主催する北名古屋市国際交流協会からの依頼を受けて、北名古屋市内の小学生が留学生との交流や芸術（音楽）を体験することのできる機会として実施されてきているものです。

2024 年度の本事業においては、7 名の小学生及びその保護者等並びに本学に



在籍する後期交換留学生及び芸術学部日本人学生が参加しました。参加した小学生は、留学生を含む本学学生及び杉江 斉先生の指導により、トーンチャームの合奏体験を行い、馴染みのある楽曲を練習した上で、参加された保護者等の前でトーンチャームの演奏を披露しました。



### 2024 年度前期交換留学生作品展

2024 年 7 月 5 日（金）から 10 日（水）まで、西キャンパス Art & Design Center



West において、「2024 年度 前期交換留学生作品展」を開催しました。今期は、ブレーメン芸術大学（ドイツ）から 1 名、UCA 芸術大学（英国）から 1 名、サンティエヌ高等美術デザイン学校（フランス）から 4 名の留学生が滞在中に制作した作品を披露しました。



### 2024 年度後期交換留学生作品展

2024 年 12 月 13 日（金）から 18 日（水）まで、西キャンパス Art&Design Center West



において、「2024 年度後期交換留学生作品展」を開催しました。今期は、ブレーメン芸術大学から 2 名、弘益大学（韓国）から 2 名の留学生が滞在中に制作した作品を披露しました。



## 実施報告

# 後援会補助公開講座

## 芸術学部芸術学科音楽領域

### ポップス・ロック&パフォーマンスコース 「NUA STATION」

こちらのコンサートは、セッションI,II,III,IVという1年生から4年生までが履修出来る授業の前期と後期に行われる半期の授業の成果を披露する場となります。



こちらの授業の面白い点は、全部で7クラスに別れ、いろいろな学年の学生と一緒にアンサンブルを学んでいくという事です。

7クラスそれぞれの指導をポップスを初め、ロック、ジャズ、ファンク、ラテン、そして、ダンスボーカルなどなど様々なジャンルに特化した先生が担当しており、担当教員のカラーが色濃く出たクラスになっています。

先日、1月11日土曜日に行われたコンサートでもそれぞれのクラスに別れた学生達が素晴らしい個性あふれる演奏を披露してくれました。

1組目の出演は、大藪先生、武井先生の指導によるダンスボーカルクラス。こちらは楽器などを演奏するのではなく、自身の歌声と共に、ダンスを披露するパフォーマンススタイルのクラスです。今のポップスシーンの一つのスタイルとして確立しているダンスボーカル。その魅力を存分に伝えてくれました。



2組目の出演は、栗木先生クラス。こちらのクラスはポップスを中心に、Rapバトルなど他のクラスにはないスタイルの演奏も披露してくれました。さらに曲間はただMCをするのではなく学生によるDJでつなぐという面白い試みも登場し盛り上げてくれました。



3組目の出演は、山下先生クラス。こちらのクラスは先生と学生でディスカッションをしつつ楽曲にアレンジを加えてオリジナリティあふれる演奏をしてくれました。ドラムの学生がいなかった為、山下先生が叩か



れていましたが、学生と同じ目線に立ち演奏されていたのが印象に残りました。

4組目の出演は、私、荒川の担当クラス。ディズニー映画のナンバーや平成の名曲のメドレーなどを中心に演奏し、8名のボーカリストをフィーチャーした内容でした。また、箏(十三絃箏)がメンバーにいる事で珍しいサウンドになっていたかと思います。



5組目の出演は、ミゲル先生クラス。ミゲル先生のクラスは、ロックなナンバーを中心に披露してくれました。今回のセッションで特にギタリストが多いクラス。様々な音色のギターが聴こえ、最後には演奏していない学生もステージに飛び出し盛り上がりおりました。



6組目の出演は、林先生クラス。林先生のクラスは、毎回ジャズのテイストが濃く出るクラス。ポップスのジャズアレンジや、アニメで人気アニメのテーマ曲など、様々なジャズテイストなナンバーをアドリブソロを交え披露してくれました。



そして、今回のトリを飾った7組目の出演は、渡邊先生クラス。洋楽ポップスを中心に、アドリブソロのセクションなどを加え様々な楽器のソロを楽しむ事が出来ました。さらにトリという事で最後の曲では盛り上がる定番JPopのナンバーで会場と一帯にになって盛り上がりました!



回を追うごとに各クラスのカラーと学生達の技量が上がってきているこちらのNUA STATION。一般公開しておりますので、来年度の開催日には是非ご来場いただき、生徒達を応援していただけたらありがたいです!

音楽領域 ポップス・ロック&パフォーマンスコース  
講師 荒川 琢哉



## 芸術学部芸術学科舞台芸術領域

舞台芸術作品を制作する人材を育成することを目的として、舞台プロデュースコース、演出空間コース、(音響・照明)、舞台美術コースの3コースを包含した舞台芸術領域は、2024年度、一期生が卒業する完成年度を迎えました。3コースが卒業時まで協働で学ぶという特徴を有している舞台芸術領域では、専門性を極めると同時に、自己表現と他者理解のバランスをとりながら舞台芸術作品制作を重ねます。領域の開設以降、一期生は常に開拓者として走ってきました。振り返れば、右も左もわからずに入学した1年生での「舞台ファンデーション」、コース選択をして少しずつ専門分野の入り口に立った2年生、自分の将来を少しずつ考え始めた3年生、そして集大成の卒業公演に燃えた4年生。これからは一期生が築いた礎を、後輩たちが受け継いでいます。

初めての卒業公演に足をお運びくださった保護者の皆様も数多くいらっしゃったことと思います。カーテンコールの後にお客様にご挨拶した学生たちの晴れやかな姿が、4年間の学生生活の充実を物語ってくれました。次年度は、先輩たちに追いつきたい後輩たちが後を追いかけます。新しい専任教員や非常勤講師を迎え、助手を含めた教員スタッフ一同、全力で領域運営に力を注いで参りますので、どうぞ今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。以下、後援会補助によって開催された事業をご紹介します。(主任 梶田美香)

### ■卒業公演 オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」 (2025年2月2日 アマノ芸術創造センター)

アマノ芸術創造センター(名古屋市芸術創造センター)との共催で一期生の卒業公演を実施いたしました。これまで演劇公演とダンス公演を制作してきましたが、卒業公演では初めてオペラに挑戦しました。オーケストラによる生演奏、



音楽で進行するストーリー、何よりも学外での本格的な舞台公演。演目を選び、選んだ演目をセクションごとに理解し、それぞれのセクションが連携してデザインし、製作やオペレーションをして作品を創りました。

歌手、コーラス、オーケストラを合わせて100人近いプロダクションというこれまでにはない規模での制作では、3コースが情報交換して連携することが欠かせないため、後期からは月に1回のチーフ会議をしたり、3コースで劇場の下見に行ったり、教員を含めた領域全体で劇場スタッフとの打ち合わせに臨んだり、様々な工夫を凝らしました。またスタジオで行われる立ち稽古(歌手が実際に演技しながら稽古をすること)には、3コースの中の担当学生が稽古に参加し、オペラが創り上げられていく様子を確認しながら、各セクションの計画を具体的に立てていきました。

そして多くのお客様に来ていただくための広報を重ね、420名近くの方にご覧いただくことができ、その結果、ほぼ満席のお客様の卒業公演となりました。



\*今回のこの公演は、音楽領域声楽コースの馬場浩子先生に多大なるご協力をいただき、卒業生を中心とした歌手の皆様、声楽コース在籍のコーラスの学生たちにご出演をいただくことができましたこと、申し添えます。

### ■特別客員教授によるワークショップ

恒例の特別客員教授(金井勇一郎先生・丹羽康雄先生・市来邦比古先生)によるワークショップが、今年も行われ、たくさん的高校生たちが参加してくれました。このワークショップが入学のきっかけになったケースもあるので、舞台芸術領域の仲間たちが増える重要なワークショップです。



\*写真は、金井勇一郎先生による舞台美術講座

後援会補助公開講座

## 芸術学部芸術学科芸術教養領域

### 芸術教養領域 宇多丸氏 (RHYMESTER) 講演会

2017(H29)年の本領域のスタートと共に始まった公開講座「リベラルアーツ×X(リベラルアーツかけるエックス)」も、後援会の助成のお陰様で8年目を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。



学生と大勢のファンが熱心なお話に聞き入る

今回は11月末日の午後、本学東キャンパスに宇多丸さんをお招きし、『リベラルアーツ×「日本語ラップ」を開拓する』という題でご講演頂きました。宇多丸さんは大学生時代に、まだ知名度がなかった日本語ラップに出会い、魅了され、日本語ラップの世界をまさしく「開拓」されてきました。ラップのにとどまらず、映画やアイドルの評論、ラジオパーソナリティーなど、多方面で活躍されており、本領域の学生の模範でもあります。



数々の著書の前で講演される宇多丸さん

当日は本領域生のみならず、他領域の学生、学外の熱烈な宇多丸ファンの方々が来て下さいました。海外からお越しの方もいらっしゃいました。

質疑応答時間を2時間近く取ったにもかかわらず、すべての質問に対応できないほど熱気がありました。普段は大人しい学生達が、社会人の熱心なファンの方々に交じり、非常に良い質問をしたことは、教員として特に嬉しいことでした。アンケートからも大変好評であったことが分かりました。学生にはもちろんのこと、社会にも大きく貢献できた会でした。



ホワイトボードも使った熱心なレクチャー

講演後は、宇多丸さんのご厚意により、希望者全員で記念撮影を行いました。領域のInstagramやXにも掲載し、必要な方々にダウンロードして頂いております。ご関心のある保護者の方々もよろしければご覧ください。

芸術教養領域 領域主任 茶谷 薫



宇多丸さんを囲んで全員集合の記念撮影



## 教育学部・人間発達学部

### 「学生による自主的なイベント企画や研究発表の場づくり」

昨年度までは特別公開講座を教員側で企画し実施していました。今年度は一旦これまでの各種イベントをリセットし、2025年度に向けて「学生の自主的な企画に基づいたイベントや研究発表」へとコンセプト自体を変更していくこととしました。

現在、教育・保育を取り巻く社会環境は厳しく、現場における人材不足、高校生の養成校離れは深刻な状況にあります。そうした中、伝統のある名古屋芸術大学教育学部（人間発達学部よりの名称変更）を今後も発展させていくためには、原点に立ち戻り「芸術大学にある教育学部」という優位性を対外的に発信し、他の競合大学にないオリジナリティを発揮することが何よりも重要であると考えています。一方、文部科学省においては「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」が推進され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて学校教育は大きく変わろうとしています。

この二つの流れの交点にあるのが「芸術的感性」であり「アート思考」であると考えます。与えられた知識を学ぶことから、自ら考え、仲間と協働して、学びを深め、新たな価値を創造していく教育への変化のキーワードは「主体性」「多様性」「創造性」です。教員は知識を伝授する人間ではなく、子どもたちの学びや育ちをサポート・コーチ・ファシリテートする存在へと変化しつつあります。まさに「芸術大学にある教育学部」の時代が来たと捉えることができます。

以上の観点から、1年次前期配当科目の「子ども学総論」の中では、学生が自らの関心に沿って芸術学部の授業に参加し、その成果を発表しました。

また、1年次後期配当科目の「子ども学演習」の中では、学生がそれぞれの関



題関心に沿ってグループを構成し、イベントを自ら企画しポスター発表を実施しました（下記は一例）。



例）。

また、従来の卒業論文・卒業制作の発表だけではなく、1年生から研究発表会を行うなど、学生が自ら考え創造し発信していく力を身に付ける学部教育へと移行する1年となりました。

2025年度からはこうした動きをより加速させるため学内に学生の様々なイベント企画や研究成果を常時発信できる場として、廊下の空き空



間を活用してピクチャーレールを設置しました。

教育学部においても、様々な学外イベントを誘致し、オープンキャンパスや芸大祭のみならず、地域を含めた様々な人々の交流・発信の場としてキャンパスをより活性化していく方針であります。

学内の設備やカリキュラムにおいても、「本物の芸術に触れる」空間づくりを来年度に向けて整備して来ました（アトリエコモンズの設置、芸術鑑賞科目の設置、器楽の個人レッスンなど）。2025年度からは「芸術大学にある教育学部」として、他にない環境の中、名古屋芸術大学でなければ育成できない最先端の教育・保育の担い手を養成していく所存です。多様な形での発信を行ってまいりますので、今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

教育学部長 鶴野 隆浩



# TOPICS

## 音楽

## 音楽録音作品コンテストでダブル受賞

2024年12月6日(金)、一般社団法人日本オーディオ協会主催の「ReC♪ST“第10回 学生の制作する音楽録音作品コンテスト”」にて、音楽総合コース4年の中村颯汰さんが優秀賞、3年の日比奏妙さんが優秀企画制作賞を受賞しました。中村さんは前年度に優秀企画制作賞を受賞しており、今回の受賞で2年連続の快挙を達成しました。

本コンテストは、音楽録音技術の習得と成果発表の場で、作品の企画力、録音技術、音楽性などが評価されます。プロを目指す学生たちにとっては「登竜門」としての役割を果たし、受賞者の多くがその後、第一線で活躍しています。

参加者は自らの発想を最大限に生かした録音作品を制作し、専門家や企業のエンジニアから評価を受けます。評価基準は音質やアレンジ、マイクの使い方といった技術的側面に加え、プロジェクトを完成させる力や独創性にも重点が置かれています。

このコンテストへの挑戦は、学生たちにとって単なる技術競技の枠を超え、自らのアイデアを形にし、それを外部に発信する大切さを学ぶ機会となりました。

- ・ 優秀賞：中村颯汰さん(音楽総合コース4年)  
「3D Audioの機能をフルに生かした制作」が専門家から高い評価を受け、音の立体感やクオリティの高さが注目されました。
- ・ 優秀企画制作賞：日比奏妙さん(音楽総合コース3年)  
独創性に富んだアプローチが評価され、作品全体のコンセプトとプロジェクト構成力が特に称賛されました。



## 舞台芸術

## 朗読コンサートで舞台セットを担当

2024年12月22日(日)、舞台芸術領域の学生たちが名古屋市 中川区にある「PALET.NU」で、朗読コンサート『ヘンゼルとグレーテル』の小道具のデザイン・制作と、紙コップを使ったパペット制作のワークショップを担当しました。舞台プロデュースコースの学生たちの工夫を凝らした演出が観客を魅了しました。

「PALET.NU」は、中川運河沿いにアートと地域のものづくり文化を体感できるスペースとして2024年9月に期間限定でオープンした施設です。今回の公演ではPALET.NUのコンテナ施設を活用し、学生たちが自ら企画・設営を行いクリスマスの雰囲気盛り上げる舞台美術が施されました。

朗読コンサートでは、ソプラノの姫田美優さん、ピアノの野口桃江さん、朗読の藤島えり子さんが出演。プロフェッショナルなパフォーマンスにより、観客は物語の世界に引き込まれ、会場全体が温かい雰囲気になりました。また小さなお子様向けにゼロ歳児用スペースを用意するなど、細やかな配慮が行き届いており、家族連れの観客からも好評を得ました。

公演後には、紙コップを使ったパペット制作のワークショップを開催。学生たちが支援子どもたちは自由な発想で個性豊かな作品を完成させました。このワークショップを通じて、子どもたちは創作の楽しさを体験し、学生たちは地域の子どもたちと触れ合う貴重な時間を過ごしました。



**美術** アートフェア「artists N,G,Y 2024」開催

2024年11月20日(水)から26日(火)までの1週間、松坂屋名古屋店南館8階のマツザカヤホールにて、美術領域の学生や大学院生によるイベント「artists N,G,Y 2024 ～アート、今、未来～」が開催されました。このイベントは、「Next Global Youngsters」という理念のもと、若手アーティストの社会進出とアート市場の拡大を目指したプロジェクトとして2023年に始まり、今年で第2回目を迎えました。

今年は、日本画、洋画、現代アート、コミュニケーションアート、工芸、美術総合の6コースから多様な作品が出品されました。絵画や彫刻に加え、インスタレーション性の高い作品も多く、来場者からは「迫力がある」「表現の幅広さに驚いた」といった声が寄せられました。これらの作品には学生たちの創意工夫が随所に光り、来場者を大いに魅了しました。

また、学生たちが制作過程や作品のコンセプトを自ら解説するトークイベントも実施され、直接コミュニケーションを取る貴重な機会となりました。来場者からの感想は学生たちにとって刺激となり、「自分の作品について話すのは緊張しましたが、『発想が面白い』という感想をいただき、自信ができました」と語る参加学生もいました。

本イベントを通じて、学生たちは自身の創作を社会に発信する力を磨き、作品を通じて多くの人々と交流する得難い経験を積むことができました。来場者との対話や販売の経験は、アーティストとしての視野を広げ、次のステージへと進むための自信を育むきっかけとなりました。

**デザイン** 食と農のつながりを考える展示会を開催

アートセンター「SLOW ART CENTER NAGOYA」と連携し、2024年10月20日(日)～27日(日)に「Edible Classroom 食の小さな循環 ～それぞれの農と小さな道具たち～」の展示会を開催しました。本プロジェクトでは、名古屋近隣で農業に携わる6組を取材し、農業の在り方や食べる人との関係性を調査。インタビューをまとめた冊子や農業をめぐる関係性を示した図、使用されている道具を展示し、食と生活のつながりを表現しました。

プロジェクトに参加したライフスタイルデザインコースとメディアコミュニケーションコースの学生からは、「取材やリサーチに興味があり軽い気持ちで参加しましたが、食べることで生活が深く結びついていることに気づきました」との声があり、初めて土に触れた新鮮な体験を振り返る姿が見られました。また、「農業の道具を展示するアイデアはharutona farmでのインタビューがきっかけでした。農業の楽しさをもっと多くの人に伝えたい」と語る学生もいました。さらに、「野菜作りに携わる人々の考えに触れ、自分の視点が広がりました」との意見もあり、取材を通じて新たな学びを得る機会となったことがうかがえました。屋上菜園で野菜作りを担当した学生たちからは、「野菜が育つ過程を見て楽しかった」「育てた野菜を食べる感動を味わった」といった感想が寄せられ、体験を通じて学びを深める貴重な時間となりました。

学生たちは今回のプロジェクトを通じて食とデザインの結びつきや持続可能な未来の視点を深め、学びを実践に活かす機会を得ました。





**TOPICS PICK UP!**

**芸術教養 学生 2 名が名古屋松坂屋店の広報活動に参加**

2024 年 11 月 14 日（木）、芸術教養領域の学生が愛知県内の学生アンバサダーとして松坂屋名古屋店の広報活動に参加しました。本企画は、学生が百貨店スタッフを取材し、その仕事や魅力を学生ならではの視点で発信する取り組みで、取材成果は松坂屋名古屋店の公式 Web サイトで紹介され、多くの読者に届けられています。

今回、学生たちは「GENTA the Watch 時計修理カウンター」の林 知明さんにインタビューを実施。時計修理の専門性やお客様との信頼関係を大切にする姿勢に触れ、時計を“人と人の思いを繋ぐ存在”として捉えた記事を執筆しました。林さんの丁寧な作業を“時計の医者”と表現し、学生ならではの視点で百貨店の新たな魅力を伝えています。

取材を通じ学生たちは情報発信の大切さや社会とのつながりを学び、自らの視野を広げる貴重な経験を得ました。このプロジェクトは学生たちの学びと成長を後押しする実践的な取り組みとなりました。



**教育 地域と親子をつなぐ交流イベントを企画・運営**

2024 年 10 月 13 日（日）、北名古屋市にある福祉作業所「あかつき共同作業所」のリニューアル記念イベント「おひろめ&バザー」が開催され、本学教育学部の 1 年生 2 名が子どもコーナーの運営を担当しました。この福祉作業所は本学の施設実習先としてお世話になっており、今回も地域交流の一環として参加しました。

学生たちは、過去に先輩の学生が作成した「魚釣り」「的入れ」「ワニワニパニック」「輪投げ」などのイベント用ゲームを活用し、担当教員と共に地域の親子が楽しめるコーナーを企画・運営。当日は親子連れが次々と訪れ、学生たちは忙しくも充実した時間を過ごしました。

参加した学生たちは、多くの笑顔に触れ、温かい励ましの言葉をいただく中で、誇らしげな表情がとても印象的でした。地域の方々との交流を通じて新たな発見を得るとともに、学びを実践する中で貴重な経験を積むことができました。



**別科 秋の社会見学で福井県絶景を満喫**

2024 年 11 月 23 日（土）、留学生別科の学生たちは福井県を訪れ、紅葉と自然の美しさを満喫しました。最初に訪れた「九頭竜湖・九頭竜ダム」では、紅葉が終わりかけながらも湖畔の美しい景色に感動し、日本の貯水技術や発電の仕組みに興味を持つ様子が見られました。その後、昼食に日本の伝統料理・釜めしを堪能。初めて味わう学生も多く、盛り付けや味付けに感心する姿が印象的でした。

午後は禅の修行道場「永平寺」を見学。静寂な佇まいと自然と調和した建築が印象的で、修行道場としての厳かさを感じながら心静かに拝観しました。拝観後には門前町でソフトクリームやみたらし団子を楽しむ学生もいました。

旅の締めくくりには「東尋坊」を訪問。荒波が打ち寄せる断崖絶壁や一面に咲く黄色い「つわぶき」の花に感動し、美しい日本海の夕焼けを眺めながら、充実した一日を終えました。学生たちにとって、日本の魅力を再発見し学びを深める貴重な機会となりました。





## 寄附事業

## 「名古屋芸大サポーターズクラブ」便り

名古屋芸大サポーターズクラブは大学の発展と、その知財を原資とした地域・社会への還元による持続的な循環サイクルの実現を目指し、趣旨にご賛同いただける全ての皆様に自分事としてご支援をいただくための寄附事業です。従



来の一般寄附に加えて様々な寄附メニューを多数設けております。

【名古屋芸大サポーターズクラブ】

<https://nua-supportersclub.com/>

## 【学校法人名古屋自由学院創立70周年記念事業】

11月2日(土)、法人創立70周年を記念して全学横断型の「ホームカミングデー2024」を東キャンパスにて開催しました。当日はあいにくの悪天候でしたが、卒業生の他、多くの在学生にもご参加いただき、和やかな一日となりました。東キャンパス各所では、卒業生の作品を販売する「アートマルシェ」や、演奏会やダンス、ミュージカルのミニ公演が楽しめる「名芸おんがくフェス」などが催され、「ファミリーふれあいコンサート」と題したオーケストラ演奏会では、会場の子どもたちによる指揮者体験などもあって大盛況となりました。また、ランチでは豚の丸焼きの実演と提供を行い、普段なかなか目にすることもない実演の様子は来場者の



皆さんに喜んでいただけました。夕刻には卒業生懇親会が行われ、卒業生と恩師とは勿論、在学生との交流もあり、大いに盛り上がりしました。その他にも記念参加事業として、昨年も実



施した世界コスプレサミット前夜祭レッドカーペット演奏や、清流の国ぎふ文化祭2024「愛と平和を願う合唱フェスティバル」への学生オーケストラの参加などの催事も実施いたしました。



当該事業には名古屋芸術後援会様から多大なご支援を頂きました。改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 【Giving Campaign2024】

Giving Campaign (ギビング・キャンペーン / <https://www.giving-campaign.jp/>) とは、10月11日(金)～20日(日)に開催された全国の大学・大学生を応援して教育・研究分野への支援の輪を広げるオンラインチャリティーイベントです。今年で4回目を迎え、本学は初参加となり、学内の部活やサークルなどの団体を中心に15団体が登録し、保護者の皆様からもたくさんの応援や寄付などご支援を頂きました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。



## 親の想い

### 夢に向かって羽ばたく娘へ

芸術学部 芸術学科  
音楽領域 音楽総合コース  
2年生 母 立石 恵美

2025年1月、娘は成人式を迎えました。その姿を見ながら、これまでの歩みが心に浮かびます。不登校の時期がありましたが、親として無理に答えを急がず、心に寄り添いながら見守り続けてきました。

転機となったのは、大好きな歌との出会いでした。音楽は心に寄り添い、前向きにしてくれる不思議な力があります。夢中でがんばる娘は、親として何よりも嬉しく、歌はこれからも娘にとって、人生の大切なテーマソングになるかもしれません。

悩み、迷い、時には立ち止まりながらも、自分の力で一步步進んできた娘。名古屋芸術大学で音楽を学ぶ今の姿は、心から誇らしく思います。大学生活は新しい出会いや挑戦がたくさん待っていますが、失敗や挫折も含めて、自分の力で人生を切り開いていけることを信じています。

私たちが願うのは、健康で、心豊かに、自分らしく生きていくことです。大好きなものや心の支えを大切にしながら、これからも娘らしく歩んでほしいです。どんな道を選んでも、娘を信じてその背中をそっと見守り続けていきたいと思っています。



### 好きを大事に！

芸術学部 芸術学科 音楽領域  
ミュージックエンターテインメント・  
ディレクションコース  
2年生 母 中村 祥

「どうしてもライブに行きたいから付いてきてほしい」とお願いされ、娘が初めてライブに行ったのは小学6年生の時でした。自分のおこづかいでファンクラブに入り、CDや雑誌を買い、毎日のようにテレビもチェックし、いつしか熱狂的なファンとなっていました。正直、そのうち熱も冷めていくと思っていました。が、熱狂的とはいかないまでも継続し、気がつくといつしか彼女の生活の一部となっていました。今ではライブを「現場に行ってくる」と言いながら張り切って出かけ、帰ってくると毎回「やっぱりライブは最高！」と満足そうな顔を見せています。舞台制作を学び、新しいことに挑戦している姿を見るたびに、娘の選択は間違っていなかったと感じます。

彼女がライブで体感し、味わっているそのワクワクを、今度は客席で楽しみに待つたくさんの人に味わってもらえるように最高の現場を作り上げていってほしいと思っています。

好きなことしかできない娘が選んだ道ならば、必ずその道の先は続いていると信じています。





# 子の想い

## たからもの

芸術学部 芸術学科

音楽領域 声優アクティングコース

4年生 寺越 くるみ

2年生のある日、クラスリーダーに任命された。修了公演のリーダーとして全体の前に立つことになった。この2つのできごとが私の大学生活を大きく変えた。

この年は、声優アクティングコースが大きく変わり、修了公演と忙しい中での変化だったからか、学年がバラバラになりかけた。リーダー職の経験は多い方だと思っていたが、上手くいかなかった。周りに頼れず、ひとりで空回りしてしまった。仲間であるはずの同期すら、敵に見えた。

4年生になり、リーダーをやらないという選択をし、人に頼ってみた。卒業公演では役者に集中してみたかったからだ。肩の荷が降りて、思い切り演技できた時はとても開放感に溢れていた。

公演後、「リーダーとして3年間頑張ってくれた」と花束を貰った。私で良かったのかと思ったが、その空間に敵はいなかった。あたたかく私のことを迎えてくれる仲間がいた。

舞台上で100人の観客の前に立つことよりも、同期30人の前に立つ方が怖かった。

それでも、同期は敵じゃない。仲間であると力強く思わせてくれるみんなに出逢えたことが、名芸で手に入れた1番の宝物だ。



## 表舞台で生きる

芸術学部 芸術学科

音楽領域 声優アクティングコース

4年生 遠山 夏香

人の前に立つのが苦手で消極的だった私。芝居と演技の違いも分からず完全に未経験で、右も左も分からないところから、アニメが大好きで画面の中のキャラクターに声を



あてる声優という職業がとても魅力的に感じ、私はこの大学に入学した。

初めはただ声優になりたいという気持ちと、同期に置いていかれないようにしようという気持ちで授業に臨んだものの、様々なカリキュラムを積み重ねていくうちに芝居の面白さと楽しさを見出した。

「舞台上の仲間を信じていれば、どんな感情になっても、どんな動作をしても相手は受け止めてくれる。」何度も言われたことのあるこの言葉。頭で考えすぎて上手く役に入りきれていないときにそうやって励ましてくれたから今の私があると自信もって言える。

声優だけを目指していたものが舞台役者や歌、ダンスも全部好きになり、この4年間で初めて自分の欲をつくることのできた。将来は全部やれるようになりたい。私の表現で誰かの人生を変えることができるような役者になりたいと切に願う。





# 名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会(以下「本会」という)と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
  - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
  - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生(大学院生を含む)の保護者または、これに代わる者及び理事会が認めた本学卒業生の保護者、並びに本会の趣旨に賛同する企業または事業主等(以下、「賛助会員」という。)をもって組織する。
- 第5条 本会に役員及び理事をおく。
- 1 役員は、次の各号に掲げる者とする。
    - (1) 会長1名
    - (2) 副会長4名
    - (3) 監事1名
    - (4) 会計監査2名
    - (5) 書記1名
    - (6) 会計1名
  - 2 本会に理事若干名を置く。
- 第6条 本会の役員及び理事の選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
  - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
  - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 2 理事の選出は、理事会において会員の中から選出する。
    - (1) 理事の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
  - (2) 監事は会務を監査する。
  - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、理事会とし、議長はその都度選出する。

- 第9条 定期総会は原則として年1回、会長が召集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関する事。
  - (2) 会則の改定、会の解散に関する事。
  - (3) 役員の選出、その他役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した過半数をもって議決する。
- 第12条 理事会は出席役員・理事で成立し、会長が召集、議事は出席役員・理事の過半数で議決する。理事会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。また、必要に応じて理事会の承認を得て新たに委員会を設置することができる。
- (1) 総務委員会
  - (2) 事業委員会
  - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に委員長1名、副委員長2名以内および委員若干名をおく。委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は理事のうちから理事会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降大学院生までは年額10,000円とする。賛助会員の会費は別途定める。
- 第17条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、理事会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
  - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
  - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
  - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
  - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。
  - 6 本改正会則は令和2年7月5日から実施する。

## 後援会旅費規程(抜粋)

- (目 的)
- 第1条 本規程は、名古屋芸術大学後援会の役員、理事および会員の用務出張に要する旅費に関する事項を定める。
- (旅費の種類)
- 第2条 旅費の種類は、鉄道賃、車賃、船賃、航空賃、日当および宿泊料とする。
- (旅費の経路と計算)
- 第3条 旅費は自宅または名古屋芸術大学を基点とし、一般的な最短経路によって計算する。ただし、用務の都合または天災その他やむを得ない理由で経路を経由し難い場合には、現に経過した路線によって計算する。(以下省略)
- 附則:この規程は、令和2年7月5日から施行する。

## 後援会表彰規程(抜粋)

- (目 的)
- 第2条 この規程は、後援会表彰を公正かつ円滑に行うとともに、後援会員(顧問含む)、学生、教職員の功績をたたえることで、後援会活動に対する意欲向上、士気の高揚および後援会事業の改革・発展を促すことを目的とする。
- (選考基準)
- 第4条 後援会員、学生または教職員の個人あるいはグループが次の各号の一つに該当するときは、これを表彰する。
- (1) 後援会活動に誠実で、特に他の会員の模範となるとき
  - (2) 永年にわたり後援会活動への貢献が顕著なとき
  - (3) 学業成績が著しく優れ、または各種コンテストで上位入賞したとき
  - (4) 国家的・社会的功績があり、後援会および大学の名誉となるような行為があったとき
  - (5) その他前各号に準ずる行為または功績があり表彰すべきであると認められた場合 (以下省略)
- 附則:この規程は令和2年7月5日から実施する。

## 名古屋芸術大学後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学後援会の顧問は、原則として、理事会の承認に基づき会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
  2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
  3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会の承認を得るものとする。
- 附則:この内規は平成17年4月1日から適用する。  
附則:本改正内規は令和2年7月5日から適用する。

## 名古屋芸術大学後援会 弔慰に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
  2. 保護者(父・母)が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
  3. 役員および理事の2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として10,000円を給付する。
  4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
  5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会に事後報告する。
- 附則1. この内規は慣例的に実施していたものを平成15年4月1付けで明文化する。  
附則2. (略)。 附則3. この改正内規は、令和2年7月5日より施行する。

## 名古屋芸術大学後援会 公認サークル活動補助に関する内規

1. 名古屋芸術大学後援会公認サークルである、《絵画グループ「壁の華」》及び《せせらぎ合唱団》の活動を活性化させるため、活動補助に関する事項を定める。
  2. 通常のサークル活動における講師への謝金(交通費等を含む)は、サークルが徴収する会員からの月会費で賄うため、補助には含まない。
  3. 学内外の会場で発表会等の活動を開催する場合に必要な会場レンタル費、運搬費、演出用品購入費、賛助への費用、及びこれらに準ずる費用等の一部について、これを給付する。
  4. 緊急を要する場合あるいはこの内規で処理できない場合は、会長判断により執行した後、理事会に事後報告するものとする。
- 附則:この内規は、令和4年5月22日より施行する。

## アートサークル「壁の華」会員募集

「壁の華」はアートを愛するサークルです。

絵画からアクセサリー、名古屋芸術大学の講師に学び、日展・二科展・各美術展にて高評価を頂いています。

「壁の華」の活動内容はホームページに記載しています。

是非、ご覧ください。

入会、または、各種お問い合わせはホームページの連絡先より、ご連絡お願い致します。



### 【活動状況】

- 年会費：12,000 円
- 日 時：絵画、工芸、随時連絡
- 開催場所：西キャンパス、その他



#### 問い合わせ先

会 長 石黒 和広  
運営委員長 余吾 めぐみ・金澤 和重  
e-mail : kabenohana.nua@gmail.com



## 「せせらぎ合唱団」団員募集

せせらぎ合唱団は、名古屋芸術大学後援会公認の合唱サークルです。

「みんなで歌って楽しもう」と在校生や卒業生の保護者が集まり1998年から活動しています。

「せせらぎ」とは、小川の流れやその音のことです。一人の声は小さいですが、仲間の声を聴き合わせると、素晴らしいハーモニーになります。

主に歌っているのは、皆様も聞き覚えのある日本語の曲ですが、なかには江端先生の編曲で「せせらぎオリジナル」にして歌ったりしています。

声を出すことで健康と楽しさを実感できるこのサークルへ、ぜひ参加してください。皆様のご参加、お待ちしております。



### 【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から  
2時30分まで

### 【場 所】

主に東キャンパス 4号館の3階の  
多目的ホール

### 【年会費】

12,000 円

### 【指導者】

本校の卒業生である山田正文先生と江端智哉先生により、発声の仕方から各パートの音取りを丁寧にご指導いただいています。

### 【活動内容】

芸大祭、NUA フィルハーモニー管弦楽団「第九」演奏会参加等。

#### 問い合わせ先

会 長 平井 友明  
副会長 近藤 結花  
e-mail : jhonsunuputi38@gmail.com







後援会役員・理事



学生支援活動



一日研修



卒業・修了制作展

### 後援会で一緒に活動しませんか

日頃より名古屋芸術大学後援会へのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

後援会は、名古屋芸術大学の目的と教育方針に基づき、学生の福利厚生と大学の教育研究活動への各種支援活動を行っている在学生の保護者の会です。

後援会のお子様方に充実した学生生活をお送りいただくとともに、保護者の親睦交流を図る研修、後援会報の発行、会員のための絵画とコーラスのサークルなど、みんなで楽しく活動しています。

後援会では、いっしょに活動していただける仲間を募集しております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ先】

名古屋芸術大学後援会事務局(株)クリアーレ

平日9:00～17:00 土日祝を除く

tel : 0568-26-3355 fax : 0568-26-2101

e-mail : kouenkai@nua.ac.jp

副会長(総務委員長) 村瀬 裕子

### 【編集後記】

この度、「名古屋芸術大学後援会報」第78号を発行するにあたり、ご尽力を賜りました関係者各位に心より感謝を申し上げます。

今回の表紙は名古屋芸術大学卒業・修了制作展での後援会賞受賞作品の中から選びました。

西川友斗さんは自然の音が好きで、作品には「ぱちぱち」「ぷかぷか」「コッ カッ」「めらめら」「ザーザー」「ゴロゴロ」のオノマトペ(擬音語、擬態語)が表現されていますので、ぜひお楽しみください。

今年度も広報委員の皆で和気あいあいと編集会議を行うことができました。

これからもご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

副会長(広報委員長) 木俣 清子



## 後援会賛助会員紹介

名古屋芸術大学グループに学ぶ学生・園児のためのよりよい教育・研究の環境づくりを支援  
地域との共生を通して名古屋芸術大学グループ全体の発展に貢献



CREARE

**株式会社クレアーレ**  
**名古屋芸大グループ**

〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281  
名古屋芸術大学東キャンパス 12 号館 6 階  
TEL(0568)26-3355 FAX(0568)26-2101

- 大学内図書館の運営
- 後援会事務局
- 損害保険の代理店
- 大学施設の貸出業務
- 学生生活支援（家電販売・Wi-Fi レンタル・住居斡旋など）
- 袴レンタル
- 自動車教習所連携
- 音楽教室
- 各種カルチャースクール



【本社・演奏事業部】



【名古屋音楽学校】



【名芸クリエイツ滝子】



**デザインから印刷・製本までトータルでお任せ！！**

**総合印刷**

・チラシ・名刺・はがき・伝票・パンフレット・カタログ  
・ポスター・自費出版・製本・企画・デザインetc...

**有限会社 住吉孔版社**

三重県四日市市住吉町 6-8

TEL 059-365-1924

FAX 059-364-2950

info@sumiyoshikouhan.co.jp

http://www.sumiyoshikouhan.co.jp

### 名古屋芸術大学後援会報 第78号

- 発行日 令和7年(2025年)3月31日
- 発行人 恒川 和久
- 編集 名古屋芸術大学後援会広報委員会  
(木俣 清子、中野 美樹、大橋 美佳、立石 恵美、  
西脇 綾子、加藤 美幸、後藤 奈津江、菱田 純子、  
松浦 美帆)

- 発行所 名古屋芸術大学後援会  
〒481-0006  
愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 番地  
名古屋芸術大学(東キャンパス)12号館6階  
tel : 0568-26-3355 fax : 0568-26-2101  
e-mail : kouenkai@nua.ac.jp
- 印刷所 有限会社 住吉孔版社

〔無断転載禁止〕

本誌掲載の記事(表紙、本文、図表、写真、イラスト等)を本会 及び著作権者の承諾なしに無断で転載(翻訳、複写、データベースへの入力、インターネットでの掲載等)することを禁じます。

# 名古屋芸術大学後援会

NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS SUPPORT SOCIETY